京城日報

八月四日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇○○愈出動

第○○師團に○○○下り○○は近く浦鹽に出動す可し(東京特電)

◇出兵宣言通達

政府は出兵宣言を聯合各國駐在使臣を通じ各國政府に通達し尚浦鹽總領事をして一般露國民にも該宣言を布告せしむ可し(東京特電)

◇英佛兵浦鹽直行

英兵は七月二十七日香港を發したるが多分本月三四日頃浦鹽に著すべく佛兵は二日上海發浦鹽に向へりと(東京特電)

◇天津 安南 佛國兵出動

天津の佛兵二百十名將校十五名は二日同地發太沽に向ひ安南の佛兵二百五名は上海より浦鹽に向ふ筈なり(東京特電)

◇臨時議會召集せず

出兵愈々決定せるも特に臨時議會は召集せざる事に二日の閣議に於て決定せり(東京特電)

◇上原總長伏奏

上原參謀總長は三日午前九時十五分…外發聽新任朝鮮憲兵隊司令官兒島中將の訪問を受け會談の上更に次長以下菊池總務外各部長を會議室に招き重要會議の後同十時二十五分參內伏奏せり(東京特電)

◇首相總裁會見

寺內首相は當面の問題一段落を告げたるを以て原總裁の歸省前に會見し意見の交換を爲す可し(東京特電)

◇ホ政府浦鹽移轉

ホルワット政府と西伯利政府との交渉解決しホルワット政府は目下浦鹽移轉の準備中なり(哈爾賓電報)

◇米借欵團復歸 交渉

米國政府は對支四國借欵團に復歸す可く石井大使に對し正式に交渉し來れる旨一日同大使より電報あり右復歸に關する希望條件等は秘密に屬せるが米國は復歸後の借欵方法に就き目下交渉中なりと(東京特電)

◇東市議員渡鮮

東京市會議員は岩松篠常氏を團長とし左の日割にて朝鮮滿洲支那視察の途に上るべし(東京特電)
▲十二日東京發▲十三日門司發西京丸にて青島直航▲青島三日▲濟南一日▲天津一日▲大連三日▲撫順半日▲奉天三日▲平壤一日▲京城二日▲仁川一日▲釜山一日

◇倪嗣冲天津行

倪嗣冲氏は會議參加の爲め天津に赴けり(北京電報)

◇領事異動發表

三日外務省辭令を以て領事酒匂秀一氏は牛莊に入江章太郎氏は遼陽に小倉鐵三氏は鐵嶺に在勤を命ぜられたり(東京特電)

◇下關立會延刻 期米と○○○

下關期米市場にては今回○○○下りたるを以て人氣の動搖を防ぐ爲營業細則第一條第三項に依り前場立會延刻す(三日午前十時半下關發電 四日午前十時半延著)

◇日郵運賃引上

日本郵船會社は上海北支那內地間運賃を三割方引上げ八月五日より實行の豫定なり(東京特電)

◇安奉線開通か

安東驛著の報告に據れば既報安奉線不通の箇處は此の際降雨なくば四日午後八時迄には全部開通の見込なり(安東特電)

◎浦鹽市會改選 選擧方法と大勢

▲改選延期 浦鹽市會の改選は去る二十、二十一の兩日擧行の豫定なりしも選擧期日の間際に至り勞働者の大部同盟して該選擧に參加せざる旨決議せるより選擧に故障を生じ遂に期日を一週間延期し廿七、八の兩日に實施する事に決し其間に於て各方面の運動奏功し勞働者側も中產階級に對抗する必要上參加する事に決定せるが未だ選擧の結果に關する報道に接せざるも多分既に改選を終了せる事なるべし

▲選擧方法 同市會は議員定數は百〇一名なるも內三名は猶太教會を代表して改進黨及び水兵團其他の團體より選出する事となり事實上選擧すべき議員數は九十八名なり選擧權は殆んど市民全部にありと云ふを得べく又其の選擧手續は我國の如く人を選擧するに非ずして黨派を選擧し黨派內に於ては豫め候補者の列次を定め置き其順序に基き人選をなすものとす從つて選擧の便宜上各黨派に第一より第十七までの番號を附し市民は其の番號に投票するの組織なり

▲黨派の數 第一家主同盟及び商工業共同會(右黨)第二地主聯盟組合(右黨)第三技術同業組合(政府側)第四郊外者(左黨)第五在浦鹽朝鮮歸化人(政府側)第六浦鹽從業員(政府側)第七デシエネフスカヤ、スロボートカ住民(政府側)第八在浦鹽猶太人(政府側)第九カデート(右黨)第十社會主義黨及び組合の一部(政府側)第十一ゴルビーナヤバーチ住民(政府側)第十二浦鹽及び近郊無所屬(右黨)第十三波蘭人(政府側)第十四小露西亞人(政府側)第十五、十六未詳第十七職業組合中央局(左黨)にして政治的色彩は右黨、左黨及び政府側の三種別あり

▲候補者數 二十六日即ち改選前日までの各黨派の候補者數は合計三百四十九名にして各黨の分野は右黨七十四(全部の約二割)政府側百廿八名(同約三割半)左黨百七十七名(四割半)なり而して右黨とは立憲民主黨(ホルワット派)政府側とは在浦鹽西伯利亞政府の一味左黨とは所謂過激派にして社會革命黨、社會民主黨、國民革命黨の三派を含めり二十七八兩日の選擧結果は尚不明なるも候補者の頭數より大體に於て左黨の優勢なるを知らるべく又土地住民間に於ても左黨たる所謂社會黨なるものは西伯利亞の流謫者及び其子孫なるを以て比較的信用ある者なりと云ふ(二十九日浦鹽特電)

◎在鮮會社現況

朝鮮銀行調査最近鮮內に於ける銀行會社の現在數並に拂込資本金を其の組織別並に事業別に示せば左の如く社數二百六十三拂込資本金五千六百四十七萬七千六百十圓也

▲組織別▲

株式會社	一五八	四八,六六一,二〇〇圓
合資會社	七三	二,七四二,二五〇
合名會社	三二	二,五七四,一五〇
合計	二六三	五六,四七七,六一〇

▲事業別▲

農業	三	二,四八五,三五〇
林業	三	一九〇,〇〇〇
水產業	一	五〇,〇〇〇
鑛業	三	二,一七五,〇〇〇
工業	五七	六,九五六,七二〇
瓦斯電氣	一六	一,三二八,六六〇
商業	一〇二	六,八八六,九九〇
中央銀行	一	二〇,〇〇〇,〇〇〇
普通銀行	一四	四,三四〇,〇〇〇
農工銀行	六	一,四六九,八九〇
金融信託	五	一三一,〇〇〇
運輸	二七	一〇,三一五,二五〇
倉庫	四	一九三,七〇〇
計	二六三	五六,四七七,六一〇

社數に於ては商業の百零二社最も多きが資本金に於ては中央銀行の二千萬圓首位を占め居れり又六月中に於ける銀行會社設立資本は新設に依るもの三件此の拂込に係るもの七件此の資本額二百九十三萬四千二百五十圓合計三百二十萬四千二百五十圓にして此の外解散せるもの一件此の資本額五萬圓なり內譯左の如し

▲新設▲

工業	二二五,〇〇〇圓	朝鮮製油
同	二〇,〇〇〇	齋藤酒造
普通銀行	二二五,〇〇〇	主一銀行

▲拂込▲

中央銀行	二五〇,〇〇〇	朝鮮銀行
工業	九〇,〇〇〇	京城日報社
商業	三〇,〇〇〇	大邱魚菜
同	一五,〇〇〇	富國商會
同	三〇〇,〇〇〇	開城會社
瓦斯電氣	一五〇,〇〇〇	全州電氣
同	一二,二五〇	咸興電氣

▲解散▲

運輸	五〇,〇〇〇	遂安組

◎咸鏡線北部起工

咸鏡線北部輸城羅南間十餘哩の敷設工事は松本組にて請負たる事は既報の如きが同組にては契約成立後工事着手の準備を進め結果去月二十日より工事を起したりし而して竣工期は大正九年となり居れりと輸城羅南間は大正八年五六月頃羅南鏡城間は同年十月若くば十一月までに完成全通の豫定なる由

◎地金買入減少

本年上半期朝鮮銀行が鮮滿にて買入れし地金の數量は七百五十八貫百七十匁其の金額二百十七萬六千五百四十六圓にして之を前年同期に比すれば量目に於て三百九十二貫百三十匁金額百七十萬七十圓の減少を示し居れり

◎春繭移出狀況

昨今釜山港を通過する朝鮮產春繭の移出狀況は一月より六月に至る半期に於て二十二萬五千四百九斤にて昨年の十六萬六千二百五十斤に比し約二倍價額七十萬九千三百八十圓昨年の三十三萬三千一百三十八圓に比し何れも約二倍に達せる盛況を呈せしが右は夙に諸物價騰貴に由り生繭高價の爲め鮮人の盛んに齊繭せしと天候の好結果に依るものにして昨年に於ける統計百二十六萬四千三百斤價額三百三萬四千五百五十五圓に比し本年は茲に數倍の移出額に達する見込也と因に本年半期の移出狀況左の如し

一月	一,四一一,九八九斤	二六,五九七圓
二月	六,二八九	一五,四二六
三月	二,五五七	五三,五四四
四月	八,九三五	二二,一三五
五月	一,二〇六	二六,一四
六月	七一七,六〇三	五八九,〇六四

◎京畿金融組合狀況

京畿道管內水原地方金融組合以下二十三組合に於ける六月末調査に係る組合現況を聞くに組合員一萬九百六十六人にして前年同期に比し一千六百四十九人を增加し一組合平均に割當つる時は四百五十八人なる而して現金に在りては總計一萬五千五百十二圓五十六錢五厘を示し前年に比し四千四百六十四圓十一錢五厘の增加なるが之を一組合平均率に見る時は六百四十四圓三十五錢六厘の割合となる利益金に在りては總計一萬三千二百四十六圓十一錢五厘前年に比し一萬四千七百七十七圓三十二錢を增加し一組合平均に就いて見れば五百五十一圓九十二錢一厘の利益を上げ居れり今貸借及び資產の內譯を記さば左の如し

▲負債の部▲ 出資金十一萬六千九百圓▲政府下附金二十四萬八千七百二十圓▲欠損準備金六萬五千四十一圓九十七錢五厘▲特別準備金七千六百二十四圓▲借入金六萬五千四百八十五圓十一錢五厘▲預り金七萬七千三百七十三圓二錢▲鮮銀代理店二千三百十二圓一錢六厘▲雜勘定十二萬八千六百八十四圓六十九錢四厘▲利益金一萬三千二百四十六圓十一錢五厘 合計七十二萬五千三百七十一圓九十三錢四厘

▲資金の部▲ ▲拂込未濟出資金七萬四千八百二十八圓八十八錢五厘▲貸付金三十三萬四千百七十八圓五十二錢▲[illegible]…合計七十二萬五千三百七十一圓九十三錢四厘

◎北鮮沿岸の漁況

▲沿海津 六月中旬より鰊の廻游近くは漁湖城津より遠くは元山地方まで南北より漁獲又は之が買ひ占めに入り込むもの多く一時は中々の賑ひなりしが連日の降雨にて海水の混濁したる爲め昨今に入りて終漁となれり

▲新浦灣 には七月十八日に廻游を見るに到り地元漁民は地曳網にて七百餘圓の水揚げをなし翌十九日もまた六百六十圓の水揚をなしたるが二十日以降に至りて全く漁獲なかりしと

▲馬養島 の香椎大敷網二統は五月十四日及び同二十四日投網し事務員二名內地人漁夫二十三名鮮人漁夫五十三名にて從事し居れるが五月中には左まで漁獲なく就業員の食料に供するに過ぎざりしも六月に入りて鰤鯛鰆の漁獲あり冷藏母船によりて關門市場に搬出され居れり

▲六台の 角輪網漁場は五月十七日投網し事務員二名內地人漁夫三十名鮮人漁夫二十名を使用し居れるが漁況は香椎漁場と大差なしと

▲松島漁場 は新浦在住山本市之助外二名にて千二百町歩の角網漁場出願中の處昨年九月許可となり本年六月資金一萬數千圓を投じて着手目下事務員一、內地人漁夫四名鮮人漁夫三十五名を使用して就業相當の水揚げをなしつゝありと

◎忠南道苧布好況

忠清南道特產の苧麻は昨年來價格騰貴の結果勢ひ價格の騰貴を見たるにも係はらず其需要は依然旺盛にて全鮮各地よりの注文に對し其幾分を供給するに過ぎず殊に青陽郡產の如きは從來其用向として素地緻密なれば特に內地向として大に歡迎され盛んに注文を受けつゝあるが更に近來輸出品として試賣申込者多く逐年新販路增加の傾向あるより舒川、青陽、保寧の各郡組合は益々產額の增加と品質の改良を計らむが爲め技術員多數を招聘し之が指導に當らしめ製苧の檢査を行ひ以て精撰に努めつゝありと因に本苧布は京都博覽會に於て金牌受賞の榮譽を荷ひたるより斯業者は一層忠南苧布の聲價を高からしむべく努めつゝあり

◎迎日築港著手期

年內に起工すべく總ての準備を急ぎつゝある慶北道迎日灣築港工事に就ては同事務技手大川氏の起工詢査も過般終了せしを以て總督府より技師榛葉孝平氏二日大邱著三日朝浦項に向ひたるが大川技手の調査書類に基き詳細なる實地調査を爲す筈なるが多分兩三日間を費やすべしと因に此の調査にして無事終了すれば近く本府より施工認可の運びに至る事なりと

◎京畿蠶共同販賣

京畿道管內に於ける其の後の夏蠶共同販賣期日左の如し因に開札は午後一時の由

販賣期日	郡名	販賣場所	豫定石數
八月七日	安城	邑內公會堂	二五
十二日	龍仁	水余面金良場里	三〇
十四日	廣州	慶安面京安里(郡廳)	二五
十六日	漣川	(郡廳)	七〇

◎狸芙間臨時列車運轉廢止

滿鐵京管局にては狸里芙蓉間に通學兒童のために特に臨時旅客列車を運轉せしめ居りたるが此程芙蓉に學校新設されたるに付八月一日限り右列車運轉を廢止せりと

◎松川大將發期

新任軍事參議官松川敏胤大將は既報の如く五日午前八時五十分龍山發列車にて東上の途に就くべく下關にて後任宇都宮中將との間に事務の引繼ぎを行ふ豫定なり

◎政務總監令息

山縣政務總監令息五郎、七郎兩氏は暑中休暇を利用し見學の爲め四日朝南大門驛著列車にて東京より入京總監官邸に入れるが當分滯在の筈

◎客月末木浦在米

七月三十一日現在木浦市場の現在米は玄米白米より籾米に至る迄總てを合算して概約二萬六千五六百石に過ぎざる模樣なるが今假りに木浦市場に於て要する一箇月の實需を三千石とすれば八月一杯にその大半を消費すべく尙此の內には一萬八千石程の內地移出玄米と若干の移出白米を含み居れり

大阪財界通信

▲大阪鐵工紛擾 株式會社大阪鐵工所は七月廿六日午前第九回定時株主總會を開催したるが何がさて製鐵所事件賄賂問題の當人山口力氏、木村鋳之助氏取締役及び監査役高木與太郎氏甲賀卯吉氏の辭任改選あること等退任重役に對し慰勞金支出の件が議案となれるより出席頗る多く議場緊張して見ゐたるが先づ開會と共に質問の聲八方より起り何れも退任重役の二三は會社と社會を毒したる者なれば慰勞金を贈るなぞは社會に對しても不謹愼の次第なれば宜敷く徹回すべしと論難頗る猛烈にして一時は山岡社長初め重役側に多少不安の色さへ見ゐたるが何分多數株を擁せると會社側株主の應戰に努めたると山岡氏の哀願的辯明効を奏し提案通取締役に贈呈金額を一任する事となり配當は普通配當一割特別配當二割五分を可決し取締役に下村耕次郎氏江村義三郎氏監査役に甲賀卯吉氏西村秀造氏を擧げたり

▲桐油暴騰 塗工旺盛なるにつれ桐油の需要激增し活躍振目覺しきものあり相場高調を持續し來り第二十六圓五十錢と云ふ素晴らしき高値を唱へ居れるも品不足の爲め賣買相場はそれ以上の高値なり品薄は撈々しき商談を齎さず需要に對する供給憂ふ可きものあり益々昇進の外なく如何ともする由なき狀態なり

▲上海取引開業 重役が株を買逃したりとて兎角の風評ある例の上海取引所は銀行側の反對にて爲替相場は絕對に行はぬ事となり雜穀は鑑定困難なりとありて中止し棉花は買占めの處ありとて物議起り僅に綿絲其他を取扱ふのみなる上に支那人間に又新取引所設置運動を爲すものあり或は此方が先に開業を見るやも知れずとの說を爲すものあるより重役側も頗る傷り氣味に過日來場所選定中なりしが遂に上海江西路福州路角に家屋を借て目下取急ぎ改築中にて九月十日迄に竣工の上九月十五日開業の豫定なり

人事消息

▲小澤光發氏(三井物產 浚部主任) 兵役關係にて五日午後七時五十分南大門發列車にて家族引纏め出發
▲寺島才四郎氏(鮮銀 營務部發祝) 三日東上
▲三引同族一行 四日朝仁川へ

東京だより 重大國策の決定

八月一日午後四時 東京支局にて 白蘇鐵

▲只今より一時間前、首相官邸に於て急遽召集せられたる臨時外交調査會は、今正に熱議の最中にして、其の散ずるや、帝國政府が重大なる行動を起すの數時間乃至十數時間の中にある可きは逆睹に難からず、今や廿雨一過、漸く逆日の炎暑を驅逐して、涼味膚に生ずるの趣き無くんばあらず

▲是より先き、廿八、九兩日に渉り米國よりの回答電報、連續して我外務省に著するや、臨時閣議は三十一日前後七時間に渉りて開催せられ、更に引續き本日午前九時より正午までこれに關する諸般の對策を評議決定し、午後三時より外交調査會の開會を見る。蓋し最後に政府の決心を表明するにありたるはまた推察に難からず

▲案ずるに、チェック救援の主旨を以て米國政府が我國の共同出兵を求め來るや、與國と同一の利害に立つ同族を支持するに於て、我國は米國の趣旨のあるところを尊重し之に同意を表するに吝かなるものに非ず、且つ同時に西伯利の治安を維持するは我國の極東に於ける特殊なる地位より觀て忽諸に附す可きに非ず、即ち政府は此議を外交調查會に附し、統一した國論を背景として、國策の遂行に當らんとし、調查會は慎重審議、その議を盡すに於て遺憾無かりしは公知の事實也

▲偶々、一部政黨者流の此の問題を執つて區々たる政爭の具に供し、また、外交調查會が側近諮問の府たる職責上より、外交上の作用たる治安維持を目的として派遣す可き兵數に就きて云爲したるを、直ちに統帥權の侵害なりと曲解し政局を紛更せんとしたる一部の論者有りたる如きも、以て大局の推移に煩ひするに足らず、即ち政府はその豫定の計畫を豫定通りに運用し來りたるもの、如し

▲チェックは我廟議が其の履む可き手續を蹈みつゝある間に、北は既に烏蘇里河畔のイマンに迫りてハバロフスクを居らんとし、西はホルワット政府との協調成りて東淸鐵道を利用し、一擧イルクックに至るの難からざるを見んとしつゝありと雖も、かのセミヨノフ軍は頻りに破れて、滿洲里既に危く、露支國境風雲險惡にして極東の形勢は更に帝國に徹底したる行動を要求する無きを保せず

◆講和促進焦慮 獨逸窮乏之眞相

獨逸政府は戰時及び戰後に於ける經濟的方策に關し目下焦慮研究しつゝあるが如く獨逸は從來あらゆる機會に於て主張し來りたる海上の自由目的を達せんと常に試みつゝあるが此目的を達成するには

△先づ植民地 の保有問題にして獨逸本國の經濟問題の關係にして獨逸本國は將來原料品を海外より仰がざるべからざるが故に阿弗利加の領土を保有するの必要ある此問題の解決は一に戰局に於ける結果に俟たざれば歸趨を見難きものあるが故に獨逸は戰局の自國に都合よき場合常に講和の試案をなし過般獨墺阿米利加汽船會社長バリン氏の講和運動も一に戰局を利用して經濟的有利の講和をなさんとしたる實例もあり而して該運動は其當時全然失敗に終りたりと雖も獨逸政府及び經濟的地位を有する有識者は

△依然此運動 を繼續し居れるが未だ具體的目的達成の目當付かざるもの、如し斯の如く敵國との經濟關係の研究は撈々しく見込立たざるを以て茲に更に別方面の研究として獨墺兩國の戰時及戰後の經濟關係の研究をなし一部には獨墺同盟改訂論さへある模樣なるが此研究の第一歩としてザルツブルグに於て七月五日より獨墺經濟調査會開かれ獨墺首相を始め獨逸通商局長ケルネル氏及びグラッツ氏等の專門家參列し兩國の經濟條約の大綱を決定せんと試みたるも議論百出して何等の決定を見ざりしが只兩國の關稅問題に關しては

△相當に論議 されたるもの、如く獨逸は輸出國なるを以て關稅撤廢を主張したるも墺國は入國なるが爲めに關稅保有を主張し兩國の利害一致せざるが爲め此關稅に關する方策も何等纏まる所なく有耶無耶となりて只關稅率及び其法制に關する研究をなしたるに過ぎず從つて該會議も結局は獨墺經濟提携の一豫備會議に過ぎずして終れり以上は何れも獨逸が窮地より脫却せんと焦慮したる餘りの術策なるが何れも成竹あるものなく一方國內に於ける食糧の缺乏は一月以來依然甚だしくウクライナ方面よりの食糧品供給は意の如くならざるが故に

△從つて國內 の經濟狀態の良好なるべき筈なく、四月に於ける軍事公債募集は從前になき好況にて百四十五億馬克の應募ありたるも是は決して經濟狀態の良好を物語るものにあらざるものにして一異例に過ぎざれば獨逸は此經濟的窮地より脫せん爲め今後は益々講和促進の運動を爲すに至るべきかと消息通は語れり

簿記 通學生 寄宿生 校外生 募集
私立 日本簿記專修學校 當時入學許可 大藏省生 認可
東京芝區櫻川町十一番地
本校は簿記學專門學校にして明治廿五年の創立…規定に依り…教授す ▲校則教科內容… 郵券二錢…

サクラビール值上ゲ 廣告
拜啓嚴暑ノ砌益々御清祥之段奉賀候陳者每度格別ノ御厚情ヲ蒙リ居リ候サクラビールモ世界的大戰亂ニ伴フ諸物價騰貴ノ影響ヲ受ケ曩ニ一應ノ值上ゲ仕候處愈々時局ハ紛糾ヲ極メ生產費ノ高キハ其停止スル處ヲ知ラス不得止八月十日ヨリ左ノ通值上ゲ實行致候間不惡御承知被下度候
值上ゲ金額
サクラビール 大瓶四打入 一箱 一圓也
大正七年八月十日
京城府本町二丁目九十二番地
合名會社 鈴木商店京城支店 サクラビール部

▲セメント著荷
京城古市町 苫米地商店
電話九四一、三一〇八番 振替京城五三一番

‖配當と好機‖
曩に第一第二回の兩會員に對して好配當を爲し續いて第五回は更に多額の增配を了せり既に出兵數は○○と確定す株界は愈々活躍舞臺となり大昂騰を出現せんとす是れ採算上來れる當然の事實也今や第七回を組織し諸君の參加を待つて此好機に乘ぜんとす

第七回 株式鐘紡 新郵船 買同氣會
▲會則贈呈▼
▣加入金一口五十圓 ▣申込期間八月十五日迄
日本信託商會證劵部
大阪市北區堂島濵通一丁目二一 電長北九七一・振替大阪四〇五六九

內外科 小兒科 花柳病
京城本町二丁目(電話二一六番)
高井醫院
診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄
院長 正六位勳四等功五級 高井貞治
副院長 千葉醫學士 松崎正彥

謹告
八月一日より愈々小口落禁止實施せられ從て顧客の安全仲買人の地位向上に見るべき期界の爲め慶賀の至りに堪へず候久しく沈衰の境にありし株式界も頓に活況を呈し加へ居候折柄東西兩市場に比しても吾博多の株式取引所が鞘開き多く利益を見る點に特に御研鑽相煩し度候敢て自ら自讃に無之も弊店儀今期營業成績第一位褒賞受領仕候事偏に各位特別なる御引立の賜に外ならずと乍略儀以紙上御厚禮申上候 敬白
追白 一報次第御要… 電略…
博多株式取引所仲買人
定期 現物
營業所 博多下鰮町
岡村株式店
電話長五三五 一四七

◇三將軍のお名殘り……四日乘馬倶樂部の送別會にて
＝◇立花中將(中) ◇古海中將(左) ◇岡本少將(右)＝

○名殘りの乘馬會

立花、古海、岡本三將軍を招待 四日朝京城乘馬倶樂部の催し

◇異彩を放つた鈴木長官令息の騎手振

京城乘馬倶樂部では四日早朝立花古海兩師團長、岡本旅團長を黄金町の馬場に招待して名殘りの試乘會を催した、この日

◇イの一番 に馳付けたのは何でも鮮銀の飯泉君らしくまだ奬忠壇の森が冷々した氣持の好い霜の中で眠さうな目を擦つてゐる五時半頃には最う意氣な乘馬姿を見せてゐた、デップリ肥つた立花將軍と痩腕ながら頑丈さうな古海將軍が馬車を乘付けたのは六時半頃、岡本將軍はそれより五六分遲れて

◇馬上豊に 打たせて來た、誰やらが立花將軍に『閣下お早く起られたでしようね』と訊くと將軍は『偶に早起する位何でもないさハッハッ』と愉快に笑つて兩將軍と並んで用意の椅子に腰を下す、七時頃鈴木政務長官が令息と共に馬で駈付けるこれで全部の顔揃ひとあつて愈々試乘會に移る、騎手は最初が六人

◇二回目が 十二人その中には鈴木長官父子、飯泉君の外大久保騎兵大尉、瀬戸醫學士、韓相龍、橋本朝日の諸君も交つてゐた『前へ進め』『止れ』『斜に開け』などと云ふ教師の號令に從つて廣い馬場を縱横無盡に乘廻し何れも鮮かな騎手振を見せ堂々たる蹄の音は朝の靜かな空氣を破つて勇ましいこと此上なし、異彩を放つたのは鈴木長官令息でまだヤットの

◇十二三四歳 の少年ながら常に先頭を承はつて却々水際立つた手並を示してゐた、二回目は最初にくらべると非常な段違ひで、鐙を外したり反り返つて馬のお臀に頭をつけたり色んな藝當を御覽に入れたが斯うして能く落ちもせず乘つて乘つて乘りこなした頃には人も汗馬も汗、三將軍は何れも意外だと云ふやうな顔をして見物してゐた、無論非常に

◇滿足した らしい、試乘が濟んだのはカッキリ八時一同は直ちに朝鮮ホテルの朝餐會に向つた、その席上では定めし三將軍を取圍んで樣々の下馬評に花を咲かせたことであらう

○兩陛下日光へ

御避暑

天皇皇后兩陛下には來六日東京御發日光田母澤御用邸に御避暑の旨仰出されたり(東京特電)

○爆發と爆沈

加藤大將の談

鎭守府長官加藤定吉大將の門司通過談に曰く下關驛構内の火藥爆發に就ては詳細を知らぬが今日の火藥は研究に研究を重ねた結果

自然爆發はない 筈である今回の爆發も全く取扱の粗漏に起因するもの、如く考へらる、今日用ゆる火藥の中でも海軍用と陸軍用とは其性質を異にして居て海軍用は陸軍用に比し劇烈なるが而し是とても自然爆發と云ふ事はないが併し夫れは學理上から言ふ事である尤も日露戰爭時代のものに至りては外國より來た練返しのものを使用したもので

◇是は二度使ふ物 で變質するから自然爆發する虞があつたが今日の火藥は學理的研究が重ねられてあつて決して變質しない筈である併しながら素々危險物であるから火藥の取扱ひは最も注意を要する事は勿論である自然爆發はしないにしても硬い物體が互に衝突して摩擦の結果電氣を起して火を發し火藥に移つて爆發する事はあるのであるが今度の爆發が果して

◇其結果であるか 怎うかは知る處でないだから海軍では火藥庫に入るには靴を脫ぎ勳章をも取外して這入る事になつて居るにして這入る位であるが陸軍の方は絕對に自然爆發をしない筈で金屬製のものは一切身に附けぬやうにして這入る位であるから或は今回の爆發は取扱粗漏の結果とも認められぬでもない爆に

◇爆沈した河内艦 も未だ浮揚ほして居ないが爲め引揚作業も容易ならんと思はる新聞紙上には獨探の行爲ならん抔掲げられて居たが該爆發が自然的でなく人爲的とすれば或は獨探の行爲と言はれぬ事もあるまいが今日の處では原因は全く不明である

○動員令を受けた時の心得

動員令と電報……鐵道乘車割引證……到着遲延の見込の時……病氣に罹つた場合……軍隊手帳と印鑑……金錢携帶の事……住所變更と屆出……貧困者の旅費

在郷軍人として身を籍に在る者は何時如何なる場合動員令に接せぬとも限らぬ特に風雲動く昨今在郷軍人は此點に關し特に注意すべきであるが若し此動員令に接した際には平素訓練した

△軍人精神を發揮 して義勇奉公の爲めに遲滯なく命令を受く可きであるが動員令を受けてからの注意に就て京城府廳の兵事係は斯う語つてゐる『朝鮮で動員令に接するのは本籍地の市町村長から電報を以て通知して來る事になつてゐるので直接令狀は受けないが此電報は令狀に代るべき大切なもので必ず紛失汚損等のなき樣に注意せねばならぬ

△令狀を受けた者が 入營地迄赴くには汽車の便ある所は鐵道割引乘車證の交付を受ける事が出來るから其在住地の府尹若くば郡守に其電報を提示して之が交付を受ける事が必要である土地遠隔其他命令の到達遲延の爲めに所定の日限迄に入營地に到着の出來ない見込の際は必ず警察官憲に出發日時の證明書を請求して之を持つて入營しなければ

△罰を受ける事に なる又途中に於ても不慮の事故或は疾病の爲めに遲れる虞ある場合も同樣である若し又命令に接した當時疾病に罹つてゐる際は身體を動かす事の可能る以上生命に別條なき以上は成るべく入營する事が必要である即ち軍隊には衞戍病院等の完全した設備もある事であるから其診斷を受けた上如何樣の手當も出來る譯で身體を自己の行くべき處迄運んでしまへば

△其以上の處置に 就ては軍隊に一任して何等の不安も無い筈である萬一身體の自由を許さぬ病氣で入營の出來ない際には直ちに其旨を電報を以て通知し然る後醫師の診斷書等夫々手續に依つて屆出ればよいのである出發の際に携帶を忘れてならぬものは軍隊手帳と印鑑である未教育の補充兵には軍隊手帳は手交して無いが其の代り

△補充兵證書がある から之を持つて行く事を忘れてはならぬ其他自己の携帶品衣服等は成る可く輕便にする事がよい之は自分も困るばかりで無く入營してからも軍隊で手數を多くかける事になるからである金錢は旅行に必要なる外は持たぬ事である尚在郷軍人で住所が變更して居る爲めに電報の配達に困難を感じ又は全く住所不明で

△配達不能のもの さへあることであるから在郷軍人である者は命令を受けると否とに拘らず郵便局なり府廳なりへ住所を屆け出て置く必要がある其他不審の點は府郡廳兵事係へ問合すが便利であらう◎尚命令に接しながら貧困の爲め旅費不足で出發の出來ない者は一應府郡廳へ出頭して相談をし官廳で出來る範圍の便宜は圖つて貰ふが得策である

○情夫と馳合で

◇故郷へ金を締め御す◇

[illegible]郎に依賴して他へ鞍替を爲さんとせしに依り喜三郎は直ち奔走の結果[illegible]情夫の久司と共に潜伏しゐたるを發見し兩名共引致さる(釜山)

木村支店長 新鮮銀安東支店長木村入樹氏は[illegible]發列車にて撫順に向け出發せり

○銀杯下賜 大正六年十月大邱在任の山中通[illegible]銀杯一組を下賜されたり[illegible]

○滿洲各地の水害

鐵道線路の故障頻々

數日來の霖雨の爲め滿洲各地の河流增水し鐵道線路の故障頻々たる狀態なるが去る二日には滿鐵本線なる立山、鞍山站間水害の爲め第六列車不通となり第二列車より開通せるが同日安奉線亦水害ありて連山關、下馬塘、南坎間不通となりたり更に三日は遼陽沙河間立山、千山間等に水害あり安奉線は陳相屯、撫安間新金、溪湖間南坎、下馬塘間下馬塘、山關間草河口、秋木莊間に線路の故障を生ぜるが復舊期尚不明なり(三日午後二時奉天發當四日延着)

○元山の海開き

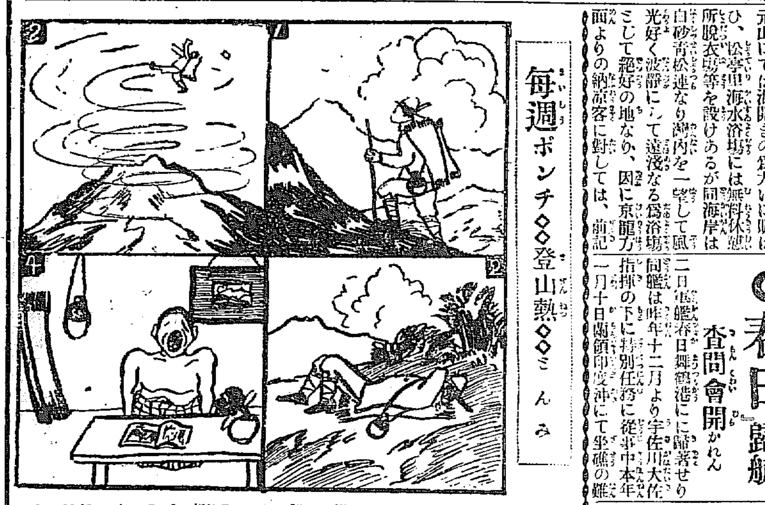
京城から納涼列車の乘込み

納涼列車は四日午前七時廿分元山に着せり乘客の大部は途中釋王寺に下車し正午着列車にて元山着の筈なり驛には官民多數出迎へ斡旋大いに努む、團體は丸金、大芳旅館に休憩の上、築港會員、新聞社員等の案内にて晝は海水浴場に遊び夜は海開の盛觀を見物する筈なり元山にては海開きの爲大いに賑はひ、松濤里海水浴場には無料休憩所脫衣場等を設けあるが同海岸は白砂青松連なり灣內を一望して風光好く波靜にして遠淺なる爲浴場として絕好の地なり、因に京龍方面よりの納涼客に對しては、前記二旅館を無料休憩所となし、驛前には種々の設備を施し歡待に遺憾無きを期し居れり、尚ほ夜は各町內より團平船に滿艦飾を施したるを數隊に分ち煙花を打揚る由なれば非常なる盛觀を極む可し(四日午前十時元山にて早川特派員發電)

○『春日』歸航

査問會開かれん

二日軍艦春日舞鶴港に歸着せり同艦は昨年十二月より宇佐川大佐指揮の下に特別任務に從事中本年一月十日蘭領印度沖にて坐礁の難に遭ひ修理の結果茲に歸航したるものにて舞鶴鎭守府司令官財部中將は坐礁原因調査の爲め査問會を開く筈なり(東京特電)



毎週ポンチ◇◇登山熱◇◇さんみ

(一)近來 夏になると暑中休暇を利用して山登りをする事が非常に流行するその熱や實に盛なものである 凸坊君も御多分にもれぬ一人であつた 三日分のお辨當をしよひ込んで單身山登りと出掛けました

(二)大豆の樣な汗をポタリポタリとたらしながら足にまかせて登る事二萬五千尺西坊院の時計を見ると丁度十二時を指して居るので急におなかがへつて來たそこで山上に第一回のお辨當を開く事としました おなかがふくれると今度はねむくなつたので山を枕にグウグウ

(三)そうこうして居る內に一大旋風が起つて見る見る內に凸坊君の五體は高く高く雲上に舞上つて行きました

(四)コリヤ大變と思つたがもう間に合はぬ あたりは白雲渺々として何物も見えぬ

ねぼけまなこの凸山君は朝から山岳雜誌を讀みふけつて居たのです 途中でねむくなつてうたゝねをしたのが夢のはじまり、おしまい

○新町の心中

夜中松林の中で=男はもと通運の店員=女は大桝樓の美人娼妓

四日午前一時過ぎ京城新町遊廓玉屋の裏手小松林の中で『助けて吳れ―』と悲鳴を切つて叫ぶ男あるを玉屋の者が聞付けて

▲聲の聞ゆる方 に近寄れば一人の靑年が口から生々しい血を吐きながら悶え居るより吃驚して大騷ぎとなり廓中の者共も馳集まりて見物し居る內同町十七番地大桝樓北野竹次郞方の仲居が是は自樓のお客さんだと言ひ出したるより的切り情死だなと人々の頭に響いた一方現場に駈けつけた新町派出所の警官は居合せたる若い者と協力して件の男を

▲新町病院に擔ぎ込み 應急手當を加へ同時に相手の娼妓を搜索に着手し新町中大騷ぎを演つて搜した末玉屋から約二丁上の小松山の中で絞殺されて居る女の屍體を發見した急報に接して本町警察署からは吉浦警部と醫師とが現場に出張して身元の調査や檢視を行つた男は本籍東京市日本橋區大傳馬町當時京城太平通二丁目下宿屋古賀菓方に滯在中の元

▲內國通運會社 京城支店員佐久間勝太郞(二七)女は福岡縣山門郡柳河町字細工町生前記大桝樓の抱へ娼妓律冊事金子ふい(二二)と判明した、女は松林の中に男の麥稈帽子を枕に仰向けに寢た儘濡れた木綿手拭で頸を絞られ何等取亂した風もなく眠つたやうに絕命して其の顏には男の着用してゐた絽縮の夏羽織が蔽はれてあつた身には

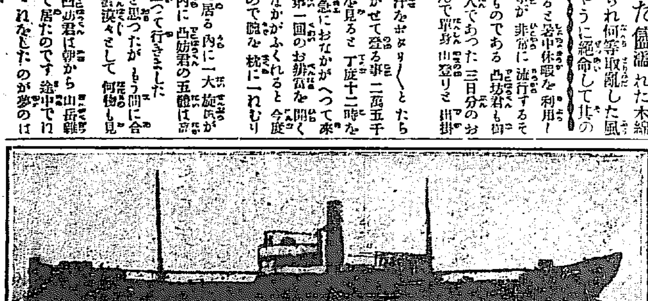
▲縮緬絞の單衣 を着て赤モスの腰卷きの下に猿又を穿ち指には金指輪三個を箝めてゐた傍らには同樓の仲居ちかに宛てた遺書一通現金約三十圓這入つた蟇口一個と男が持て來たらしい鋭利な九寸五分の白鞘の短刀一振りとがあつた男は手當を加へたが纔に蟲の息で『苦しい死にたい』と呻吟りながら午前四時四十五分頃遂に絕命した

▲兩人の關係 其の他前後の模樣を聞くに兩人は三日夜十時頃本町五丁目の撞球屋に行くと言つて同伴して家出した儘歸樓せず前記の松林に行つて合意の情死を相談し斯所を冥途の門口と定めて此の慘劇を演じたものらしい、而して最初用意の爲め携へ來た重クロム酸を少許女に飮ませたらしいが未だ絕命する迄に行かぬ爲第二の手段として

▲濡手拭で男が 絞め殺したもので第三の用意として短刀をも持つて來たものと見られる、男は女の絕命したのを見濟まして重クロム酸十個ばかりを仰いだもので苦悶に耐へず山を降りて來て助けを求めたのだ、男の遺留品としては質札と服部某に宛てた遺書及び元の主人支店長に宛てた書面腕時計等であつた檢視が終つて女の屍體は樓主に男は元自分が居た通運の

▲支店員柳澤某 に引渡された、女は大正五年十一月六日から向ふ三年四箇月を前借金四百圓で同樓に抱へられたもので至つて溫順な美人で樓中でも賣れつ妓の方であつた、男は本年四月四日夜に登樓したのが振出しで爾來每夜のやうに通ひ詰め情死する迄に前後八十九回通つてゐる一回の遊興費が七八圓以上三十三圓が最高で

▲總計千五六百圓 に達してゐやう、最終は前月二十九日夜から三日の夜迄流連して居る程で兩人共相思の間柄となつたもので樓主や仲居は夫れとなく二人の素振を警戒してゐたが遂に此の始末となつた、男は月俸三十五六圓と言へば荒い金使ひが何時迄も續く筈がなく夫れに幾分未練ろしいことでも暴露せぬ先にと決意して同意の上決行したものであらうといふことである



○〇〇〇〇を受けた者

京城では四日朝迄約百名

第〇〇師團並に第〇師團所屬豫後備補充兵にて京城府內在住者に對し〇〇を接受せし者は一々屆出無きを以て正確なる數を知り難きも四日午前迄に約百名位に上る可く

四日朝南大門驛發列車にて〇〇せし者二十六名內將校二名あり四日夜及び五日朝出發す可き者四日正午迄に判明したる者十三名ありて之等は全部第〇〇師團管下の者のみにて第〇師團管下の者は今日迄一名も無き模樣なり

◆四日 京城最高溫度 華氏九十度五分(午後二時)

○西氷庫行

臨時列車運轉

午後一時半京城發西氷庫水泳場行の臨時列車は過般來都合に依り休止中なりしが四日より復活再び運轉を開始する事となれり

◎觀火大會と麥酒 二日夜擧行したる觀火大會來賓に對し本社はビールを贈呈する所ありたるが右は日本、キリン、櫻の三麥酒會社よりの寄贈に依るものにして三日朝刊觀火大會記事サッポロビールを引換云々とありしは以上三ビールの誤りなり

讀者文藝 課題及募集規定

□募集規定 ▲用紙は[illegible]書又は同形の用紙一枚每に住所氏名明記[illegible]

天氣豫報 晴一時曇 八月五日 [illegible]

演藝案內

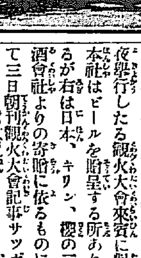
米國ユニヴアサル會社特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 有樂館 ▲八月二日より公開 午後七時より ▲社會劇『雪間の月』全五卷 [illegible]

明治町二丁目 浪花館 電話二六〇番 每夜午後七時より開演 ▲京阪落語樂會一行 [illegible]

櫻井町 大正館 電話八七三番 ▲當る八月三日より新寫眞提供 ▲米國キーストン會社作品 [illegible]

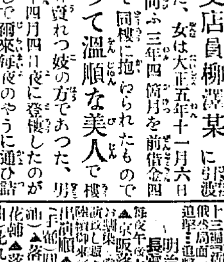
電話二六三七 黄金館 ▲當る八月三日より大寫眞と大餘興 ▲喜劇『戀と菓子』 [illegible]

京城本町三丁目 壽座 電話五七八番 三府合同大歌舞伎一座 初代市川市藏一世一代の渡韓 八月三日乘込八月四日町廻り初日開演 每日午後五時開演 [illegible]



好評經濟的事務用 金ペン付 パインビジネスペン 定價壹圓九拾五錢 京城日報代理部

京城本町二丁目 川合時計店 電話一九一八 振替京城一二二九



ニッポノホン

時に八月の新譜が出ました

夏が來ました 休暇が來ました 海に、山に、唯一の慰み、樂しみは、ニッポノホン鷲印レコードが他に類のない、新らしい用意が出來ました

お旅行には蓄音器を決してお忘れ下さるな

朝鮮京城本町一 株式會社 日本蓄音器商會 電話二一八三番

京城明治町一丁目 電話二四一番 賛化病院 內科 小兒科 入院隨意 無料施療 每日五名を限り 醫學博士 古城憲治

寫眞 京日寫眞製版部

◎邦人義勇軍の眞相

初回に應募した者は好かつたが 二度目の募集は全然失敗す 無頼漢に等しき者許り集めた爲

前月の初旬セミヨノフ軍の義軍を募集すべく在滿洲里の內地人安住某といへる人か同志を四方に派して大活動を開始した募集の要項は日本人にして豫後備の軍籍にある上等兵以上即ち下級から上級に至る◇幹部となる素質の◇あるものでなくてはならぬと云ふのが主なる條件であつた、此の募兵事務は各地に於て極めて秘密に敏速に行はれた。而して希望者は續々として應募し北を差して出掛した、それから又十五六日も經過すると再度の募集に着手した◇此の時は一般兵卒◇を募集するのが目的であつた、前者の募集時には質も好かつたが第二回には案外の代物が應募して常に其の相場が下落したこの事である、今最近セミヨノフ軍に從軍して病氣の爲め歸つて來た某氏の談話の一端を掲げて如何にセミヨノフ軍が過激派軍と交戰してゐるか如何に同地方の安寧秩序の維持に腐心してるかを記述して見やう去月二十六、七兩日に亘る戰鬪は非常な激戰であつた、セ軍は兵力が尠く戰鬪力が薄弱な爲めに大部分を有する過激派と獨墺捕虜から成つてる攻擊軍に擊破せらるゝの◇已むを得ない窮狀◇に立ち至つた、無念を忍んでセ軍は防禦陣地に據つて守勢を執らざるを得ない羽目になつた、が優勢なる敵は攻擊前進を繰り返して肉薄し來り尤も接近した處では兩方二十米突の地點まで突擊して來たこの事である、是で見ても此の戰鬪が如何に激烈であつたかを想像する事が出來樣と思ふ、斯くの如き狀態でセ軍の死傷は續出し行方不明者も隨所にあると云ふ◇悲慘な境遇に立つた◇ものだから軍は愛に後退するの已むを得ざるに至り唯一の後方陣地としてる滿洲里も捨なければならぬ事となつた、而して敵の追擊は極めて急であつた、此の爲めにセ軍の蒙つた損害は實に夥しいものであつた、が其の當時既に病氣の爲め後方に退いて居た自分は此の猛烈なる戰鬪を目擊する事が出來なかつたのは千載の恨事であつた、而し歸つてセ軍に從軍した我が義軍は如何にも前述の如く◇質の惡いのには閉口◇である、由來セ軍が我が軍を起したのは國境方面の秩序と安寧を維持する爲めで更に餘力あらば獨墺の東漸を驅馳するのが大目的であつたにも拘らず却つて之れに裏切る樣な行動があるのは慨嘆に堪へない處である、第二回應募者の種類を見ると全部が悉く軍隊教育を受けたものと許りは云へないらしい其の上に彼等には軍紀も風紀もあつたものではなく◇徒らに暴虎馮河の勇◇ある亂暴極まる態のみで却つて附近の安寧や秩序を破壞して快を叫ぶ連中で所謂破落戶の寄り集まりではないかと見られ現に滿洲里の內地人が敵の寄せない以前に引揚げの已むを得ざるに至つたのも要は是等無頼漢の義軍の擾亂橫暴に堪へなかつた爲めだと云ふ事である、殊に彼等は支那人や朝鮮人を見て盛に使嗾する事さへあるが厄介極まる代物で是れが爲に兩者の間のことが面白く方法を講じないと日本の名譽を傷つくる事は尠少ではあるまいと思ふ、と云うても今此の方面の防備を忽にする事は到底不可能の事に屬する(大連)

◎經濟鐵道たる 平元線(四)

◇平南商業會議所調査◇

有望なる森林の開發

平元沿線は江東以東は何れも山嶽地帶なるが故に鑛產物豐富ならざるも前項の如き鑛山を有し同時に林業の發展に伴なふ林產物の豐富を期待し得べく成川郡の如きは山嶽の多き割合に大森林を有せず隨つて林產物の產額大ならずと雖も其の素質を有する以上經營者に對し之を利用せしむるの方法を講じ他方火田に對する方針を定め林業の獎勵を怠らずんば其の發展の見るべきものあるは架說を要せず殊に當局に於ては種子苗木の配付等頻りに造林を獎勵しつゝあるを以て山林令に依る取締と相俟つて向後の林業は全く舊套を脫却すべきが現在國道沿線にありては薪炭特に製炭材料として有望なる雜木林少く平元線の交に於て之を望めば一見密林たるを感ずべしと雖も落葉又は嫩芽期に之を望めば成長不同なる古木稚樹の雜然たる粗林にして天然に委して顧みられざるもの多く大木は既に成長期を經過して枯朽に瀕し小樹は徒らに古木に掩はれて成育を妨げられ製炭材料に適せざる物なきにあらざれども之等は當局の指導に依り年々面目を改めつゝある處にして深く憂ふるに足らず若し夫れ陽德郡破邑奥地一圓の

◎鬱蒼たる大森林

に接せんか甑山秀嶽の朝暉に於て斯の如き密林あるかと何人も亦驚嘆を禁ぜざるものあるべし幸ひ本森林は國道と甚距る遠からず將來鐵道布設の曉に於ては最も搬出便利なるものあれば之亦鑛石と共に平元線に於ける一大物資たるを失はざるなり、然して此等の森林は概ね赤松にして亭々五六間の松材は密林なるが故に節なく製材用として最も好適せるもの多く其他五葉松、樅、檜材、クヌギ、楢、ニレ、樺、シナノキ、白楊樹等あり、陽德郡に於ける林野面積

十二萬町步の內

九萬町步は要存林野に屬し殘り三萬町步は一種林及び二種林なり、殊に同地方の林野は大和國吉野地方の夫に酷似して而も山の急峻ならざるの利あり將來適當なる獎勵と保護機關を善用せば一層豐富なる森林と化すると共に一般林產物の產出多大なるに至るべし、現に殆んど附近に於ては溪谷を利用し年々松丸太二萬本位を流下しつゝあるが山元に於ては五十錢位に過ぎざるもの平壤に到着すれば五六圓の高價となるは要するに輸送の不便なるが故にして單に丸太として研築其他の用途に充つるものあれば將來鐵道開通の上は鴨綠江材に次いで朝鮮の鐵道を肥やすべきや明かなり其他鑛材原料及び木炭等の豐富は今更贅言を要せざるなり(未完)

◎兵器製造所

◇煉瓦延長八百五十哩◇ ◇砂利牛車延長二十里◇ セメントは富士山より高し

目下平壤に建設工事中の陸軍兵器製造所第一期使用總額は四百萬圓にして今是に要する材料につき聞く處によれば目下列記の通りにして之によりて見るも如何に其の規模の大なるかを知るに足る可く然して斯く擴大なる建築に對し比較的費用の要せざるは材料の過半は陸軍管轄各工場より提供せらるゝによるなる可く民間において斯の如き工事を爲さんとせば少くも一千萬圓の巨額を費消せざれば到底竣成出來得ざるべしとの事なり

◇砂利 の容積二千百立方坪にして是を運搬するには二萬五千二百臺の牛車を要しこの延長實に二十里に及び是を距離のにより見れば現在鋪設地點より鎭南浦に到り更に岐陽に渡すと同樣の里程なり

◇煉瓦 は六百萬本を要し是を延長するに八百五十哩に達し平壤釜山間の往復里程に等しく更に積重すれば富士の五倍に等しく

◇セメント は二萬二千樽を要し是れを積重すれば五萬六百尺富士山に比するに四倍強にして

◇スレート は三十一萬六千五百尺を要し之を延長すれば七十七哩に達し

◇鐵材 の要すること三千噸にして之を八瓩の電線に比すれば一萬六千五百哩に及び更に比喩すれば其の直徑の二倍に等しく

◇木材 は二萬尺を石材は一萬切を要し水の消費高一千キロにして一立方尺に一斗五升四合の容量なれば十二時間に通算するに二十三萬七千五百八十四立方尺に及び之を入口により見れば五萬九千三百人の給水に應じ得べく平壤現在の給水量に等しく電力に應用すればタングステン燭光十萬燈を點火し得べく平壤現在の電力に比するに五倍なりと云ふ

◎貯米調

平南二府七郡

一ヶ年百石以上の小作米を收納する平安南道各郡の農家に就き其貯藏米數量を取調べたる處七月二十五日現在左記の如しと

	米	穀		米	穀
(府) 平壤	三四	六九二	(府) 鎭南浦	六四	一〇六
(郡) 大同	：	八三〇	(郡) 江東	ー	一〇三
中和	五	一二〇	龍岡	ー	二六
江西	：	一一〇〇	平原	三四	三三
安州	一三	五三〇	計	三四四	一六六四

其他の各郡に於ては計上すべき程の貯藏米なしとの事なり(平壤)

◎作蠶輸出多し

平北義州郡玉江鎭稅關監視署を通過して對岸支那に輸出せられたる本年夏期作蠶繭は五百萬粒の多數を算し其價額二萬二千五百餘圓にして前年に比すれば數量に於て九十萬金額に於いて十倍の增加を示せりと(義州)

相場熟語解

(禁轉載) 東京 故かきがら老人閲 仁川 八萬三騎生選

イ

◇煎れ 買方が損見切を付て手仕舞(賣戾し)をなすと=煎れ返き

◇居据り 相場の居据れると(類語) 値付き…座り付き…

ハ

◇はた賣り 引渡すべき玉(玉の項參照)の準備なきに賣ること 空賣=

◇發會 毎月新市(新市の項參照)の立會(立會の項參照)をなすこと之を發會と稱す

◇初相場 新年の四日に初めて立つ相場を稱す

◇場況 期米市場の景況を稱す

◇場面 場況と同じ

◇場面師 其の場限りの氣配を見て賣買する者

ニ

◇鈍し(鈍る) 讀で字の如く相場の不活潑なること

ホ

◇本場 午前中の立會(立會の項參照)

◇本敵 本證據金(仁川は一枚=五十石で五十圓)

ト

◇ドタ 恰度といふ意味なり、即ち何圓ドタ、何十錢ドタといふが如し=東京邊にて稱するドタ一とは十錢と其の上の一錢との間、即ち何十錢五厘、ドタ九とは、十錢と其の下の九錢との間、即ち九錢五厘の謂なり

◇當月限(又當限、當切、當) 其月の月末に受け渡をなすべきもの

◇解合 合意の上賣買の解約をなすこと

◇ドテン 肩替をなすこと即ち賣方が俄に買に廻り或は買方が賣に廻ること

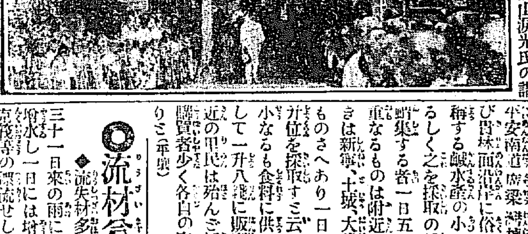
◎輸出米證明

當業者への注意

本年三月實施の米輸出取締に關し出米の業者證明書は輸出後一ケ月內に提出すべき條件を附して其之れが履行を爲さゞる向勘からず此等は取締上差障多きは勿論なるが斯の如きは許可以外の地域に輸出し又は在住本邦人の食糧以外の用途に供したるに因るものと推定され爾後此等の向に對しては輸出を許可せざる事あるやも計られずと當業者は注意を要すべし尙ほ從來輸出證明書の提出の向あり許可書數に對して一通を添付する向あり此等は處理上不便なるか ら ざるに付今後毎に作成提出するを要すべしと(仁川)

◎滿洲佛教青年會

滿洲佛教青年會主催となり八月六日より十日迄毎日午後八時より大連市播磨町大連幼稚園に佛教大學講師司敎高木俊一師を聘し講習會を開く筈にて高木師は此の五日間に於て大乘起信論の梗概を講述すべしと(大連)



◎お伽講演會

釜山支局主催の下に去月廿七日より五日間各校に於て開催したるお伽講演會は講師龍山淚光氏の講振りは聽衆の滿足を得頗る好人氣を以て終了したるが寫眞は講演を終へて退場せんとする淚光氏を見送りつゝある第五尋常校生徒諸君なり(釜山)

◎パンエア貝

一日五百人以上の採收者 喰べて極めて美味

平安南道廣梁灣塩田締切堤外及び貝林面沿岸に俗にパンエア貝と稱する鹹水產の小さき貝の群棲せるらしく之を採取の爲め干潮の時に蝟集する者一日五百人以上に達し重なるものは附近の里民なるも遠きは新寧、十城、大代面等より來るものさへあり一日一人平均一斗五升位を採取すと云ふ因に此貝は形小なるも食料に供せば甚だ美味にして一升八錢位に販賣し居れるも附近の里民は殆んど採取するを以て購買者少く各自の家にて食し居れりと(平壤)

◎流材益多し

◇流失材多き見込なり◇

三十一日來の雨にて鴨綠江は漸次增水し一日には增水八尺を示し安東江岸は一時混雜を極めたるは前報の如くなるが一日夜中又復大降雨あり尙つ上流地方の降雨各地に於て間斷なき模樣なるより二日午前九時には增水一丈に及び尙ほ漸々增水の怖れあるものゝ如し此の分にて進まば岸地域の浸水を見るやも計り難く支那市街方面は一部に浸水の個所さへあり而して流筏は他物二千本以上に及びたるが其他流失したるものは尠からざる見込なりと(安東)

大連特產物相場

◎現◎物◎相◎場 大豆 三一五 豆粕 一〇三 豆油 一四四〇

◎先◎物◎相◎場

	(大豆)	(豆粕)	(豆油)
九月限	三一九	一六〇	一四八〇
十月限	三三〇	一九五	一四八〇

◎不思議な感冒

先づ咽喉から這入る 含嗽が一番の豫防法

仁川府立病院長談

近頃一種の流行性感冒が仁川に這入つて來て最近著るしい勢ひで流行して居る之は普通の感冒とは聊か違つた特徵があつて先づ其流行の經路を見ると一番に咽喉を犯されるらしい續いて惡熱が來る關節が痛む腰痛を發ゆると云ふ種々なる

◇徵候 を呈するそして大底は四五日で癒るのであるが其の最盛期の三日間位は必ず發熱して殆んど四十度の大熱に犯さるゝ之が今度流行しつゝある感冒の大なる特徵である其の傳播力は非常に强烈で若し一家に此の感冒に犯さるゝ者があれば必ず二人三人は枕を並ぶると云ふ勢ひに流行する親子三人悉く枕に著いて氷囊の取扱ひをする者が無い等の悲慘な狀態にある家庭も二軒三軒では無いらしい之れはほんの

◇十日 許り前からの流行で內地では既に盛んに流行して兵營を騷がせたりしたものだ京城にも既に流行して居るとか聞くが恐らく內地から京城に移入し京城から仁川へ持つて來た流行の經路であらう此の感冒は普通健康な者には單なる感冒で濟むが時とすると餘病を併發することが往々ある最も危險なのは急性肺炎に變化することで

◇油斷 が出來ぬ惡性のものである或はよく强度の胃腸炎患を併發する場合が多いから餘程の注意を爲す必要がある何分此の暑さに急に四十度の熱を起すのであるから衰弱することが甚だしくそれに關節や腰痛を發するから堪らない最も單純な感冒だけで濟めば勿論左程の危險なるものでなく多く四五日位で全癒するが放任としては

◇氷囊 で冷すが一番である豫防としては何よりも咽喉に注意することが必要で絕えず含嗽を勵行し塵芥の吸收を避め口中清潔に保つことが豫防策として最も宜しい今の處では先づ二三十名の流行感冒に犯された患者があるが餘病を併發して困る危險な狀態にある者も二三名はある此の樣に感冒に熱が加はる上に胃腸を害する者が多くなるから殊に併發を伴ふ危險な感冒等には餘程の注意が肝要であらう(仁川)

◎支那兵の給料

不渡勝ちの爲

◇逃亡する兵士續出し◇ 中には馬賊團に 投ずるものさへあり◇

張奉天督軍は嚢に南征派遣軍を補充し且二十九師を完成すると共に獨立旅團編成をなす爲め前後二回に亘り新募兵を行ひたるに其の爲め既定豫算中に缺陷を生じ七月分の募集兵以上の多額を要したる爲め各軍隊に給與すべき給料不足し已むを得ず支給する能はざるに至り殊に八月中よりは此缺陷益々增大の模樣あるより既設軍隊中に逃走を申出づる者或は擄職して掠奪を地方に行ふ者或は馬賊團に投ずる者ある等混亂狀態愈々增大すべき兆候あり(奉天)

◎名馬に別れたる 服部大佐の逸話

今度待命となつた元平南警務部長の服部憲兵大佐は兎角の批評もあつたが大佐に就て一の美談がある それは大佐の愛馬は大佐が少佐時代に旅順攻圍軍に從つて出征した折落合中將から貰つた逸物である爾來大佐は此の馬を我子の如く愛しんでゐたが今回待命となるや是非此の馬を讓つて呉れとの申込が方々からあつたが大佐は記念の名馬であるから讓らなかつたが出發に際し突然忠南大田の某氏に

◇無償で讓つて了つた◇

其次第は嘗て大佐が忠南警務部長時代に大田へ行つたとき今回愛馬を與へた某氏が此の馬を見て非常に欲しがつて是非讓つて頂きたいと賴んだが固より記念の名馬であるから之を斷つた併し其時大佐は他日自分が此の馬を手放す時は

◇必ず貴下に獻上しよ◇うといつて別れた事がある、それから四五年經つて大佐は今回端なくも馬匹の必要がなくなつたので大田の某氏の事を想ひ出し俄に呉遣る考へになつて先頃某氏を平壤に呼寄せ潔よく其馬を與へて了つた、が併し其條件としては只著上ける代りに此の馬を一生大切に飼つてやつて呉れとの事であつたそれと是とは事變れど

◇季札が寶劍を墓に◇掛けた故事も想起されて大佐に兎角の評判があつた半面には斯んな美談もある(平壤)

◎鳴物泥棒

鼓、太鼓、三味線

福岡縣朝倉郡甘木町大字甘木生れ平壤歌舞伎座林方前科二犯の平井二郎事又は平井晋二こと平井二郎(二三)は昨年十二月中旬自分の雇主なる坂井豐丸より三味線の撥箱を託せられ行町三味線店竹內正五郎方へ持ち行き第二七星館の店頭に張り替へ呉れと云ひてれば直に張棒へ呉れさせたるが有り金として坂井より二圓五十錢を受取りながら村上に渡さず其儘着服し其後又々第二七星館仲居某より三味線の張替を託され前同樣村上方に運ぶ張替を騙さしめたる後此の賃金二圓五十錢を同仲居より受取りながら横領し本三月廿五日同町料理屋大黒家方の藝妓千代(賀)事野カツより太鼓及び小鼓各一挺宛此價格四十圓のものを依頼せられたるを携帶中田質店へ五圓にて入質し一行の松下質店へ入替へ其他大勝一行の第二浦興行にて歌舞伎座主より金二十圓を騙取したる事發覺して平壤署の寺田刑事に取押へられたり

◎お尋者捕はる

元山榮町二九古物商田中近松(三)城南水興場に寄宿中の宮崎縣臼杵郡延岡生れ鍛冶職藤原弘次(三)の兩名は共謀して元山に於て金二百八十圓の詐欺取財を犯し逃走中兩名が平壤に來りたる處を探知せる手配中平壤署の寺田刑事が捜し出して御用(平壤)

(蠶況) 仁川の收繭量

本年は成績良好ならず

仁川に於ける春蠶の掃立て數は本年は二十五枚に達せるも之が收繭は比較的少く僅に三石六斗を得たり之本年は蠶兒四五齡の時季に於て降雨多く濕潤なりし爲之が乾燥に勉むる爲に火氣を使用したるが大に飼養家に於て火力の應用を誤りたるに起因して減收を見たるものなりと然れども掃立時機一定せざりし爲め雨季に收繭せるものの比較的良好の成績を納めたりと之を昨年の掃立二十一枚に對する收繭量四石に比すれば本年は僅に一枚一斗五升弱に當れりと(仁川)

納涼大歌舞伎

東京名優 市川市藏一座

▲愈今四日午後五時開演

初日御目見得狂言

式三番叟

前狂言 引拔だんまり

中狂言 大功記大序より大詰迄

切狂言 扇屋熊谷 三十三所花之山壺坂靈驗記

京城 壽座

朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行 京城南大門外 白神洋行支店

新田帯革 耐水調革 バラタ調革

(定價表申込次第送呈)

優等清酒 一鶴

發賣元 永樂町二丁目 本莊酒店 電話京城六五四番 二六〇番

男に限り進呈

青年も老人も生殖器衛生上必要の說明書をハガキ申込者に無代進呈す

東京本材木町三ノ二五 生殖法研究所 大阪市北區北森町 大阪新療法研究所 朝鮮京城本町二ノ七一 朝鮮新療法研究所

實驗 全快 わきが 治療好期

京城 鯨尾羽毛 鯨皮肉類 大販賣 夏季刺身代用品に最も適當 東洋捕鯨株式會社特約店

鯨問屋 香月商店 京城明治町二丁目 (振替口座四八四六番)

廣告

不思議に効く 乳の出藥

乳の出なき人に乳出さ……乳の母 京城 いづみ藥房

秋のぬけ毛 うす毛

にて困難せらるる方へ東京神田驗河臺袋町九番地日本化粧品株式會社附屬東京美容院の院長北原十三男氏は毛のこと類では世界に知られたる研究家である事は世人の知る處にて同院製品一切取揃へ度其他北原先生の創造せられたる白粉洗粉より色粟きめをよくする劑等說明書呈

東京市神田區驗河臺袋町九番地 日本化粧品株式會社 電話本局特長一七七一番・四二七四番

資本金壹百萬圓

京城 株式會社 漢湖農工銀行

不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候

支配人 遠山熙

支店所在地 開城、春川、大田、江景、公州、清州、忠州、論山、鐵原、鳥致院

普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

▼一寸待て▲

◎汝は、汝の大問題を顧みずして、何れに往かんと欲するや。◎人は大に富まざるべからず、然り人は富まずんばあるべからず。云ふ迄もなし、居ながら『カーネギー』たる能はざる也。其處は道あり即ち巧妙なる經濟界の活動は、本教會により超る、今や百萬言の說教より無言の實行にあり。◎本教會の根本教理は、時代の要求に應じ、此有利安全事業を世衆に紹介す、來る者は榮へ、來らざる者は亡ぶ。◎嗚呼思へ、世變の百萬金は獨力の一萬金に如かざるを、茲に大いに當あり、汝の來り取らんことを待つや久し。

▲募集金額=七萬圓(內三萬五千圓引受濟) 但し壹口百圓以上の出資に限る

▲內容說明書及『文書傳道』は郵券二錢を要す

申込所 兵庫縣加東郡福田 二葉教會

汽車

京釜線（南行）　同（北行）　湖南線（南行）　同（北行）　京元線（南行）　同（北行）　京仁線

[illegible]

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第百五十六席

塚原小太郎將義が將軍義昭の招きに依つて海道筋を上るこ聞いて打喜びました長一郎、今宵は島田明日は金谷泊りこ承はれば、宿所へ忍び小太郎に近付いて父彈正の恨みを報いんこ何氣にも思ひ定めで主には何氣なく話を紛らかして其夜は寢る、翌日になるこ早く起きて食事を濟ませ二階の欄干から下を見るこ大變な混雜、女中が來たから 長『ア、これこれ少し聞きたい事がある 女『ハイ何んでございます 長『塚原の人數は川を超して參つたであらうか 女『ハイ只今御先供がお著きになりまして手前共へお入りになりました、塚原樣は後から本陣へお乘込みでございます 長『ハア左樣か、大きに忝じけない』支度をして長一郎鍋居を立出で、本陣の前へ來て見るこ表に蓮太に『塚原小太郎旅宿』こ認めた板を立て人數五六十人入込んで混雜して居る 長『ハア大した勢ひだな』成程感心をしてブラブラ廻つて見て居るこ間もなく川を超して金谷の宿へ入つて來ました小太郎將義、旅裝束で栗毛の駒に跨り、馬側の侍三人、槍薙刀を鞘の儘荷つて進む、小太郎に續いて將軍の使者山名監物、之れも同じく旅裝束にて供を隨へ同じく槍を立て、馬を進め威儀堂々こ乘込んで參りまする後には供の面々が續く、三萬石の城主格でありますから容儀嚴重に本陣へ繰込んで來た、宿の入口には宿役人一同出迎へ頭を下げて挨拶して居る、間もなく本陣へ著すこ小太郎監物馬より飛下り、頭を家來に渡してズーッこ式臺へ上る、亭主は羽織袴で出迎へまして直に奥へ案内いたしまする、後供の面々もドカドカこ入つて行く樣子、長一郎は前に仇小太郎を見るこいへども力及ばず、空しく見送つて居る所を○『コレコレ町人、本陣の前に徘徊して居ては不可ぬ立去らつしやい』こ供の者が聲を掛ける、ハッこ我に返つて長一郎本陣の前を二三歩離れたがハラハラこ落涙いたし 長『ア、情ない事だ、常州水戸の城主佐竹右京太夫家來、元一族たる同國鹿島の城主七萬石、佐竹彈正の嫡子官航こもある者が、姿容を窶せばこそ心なき若黨仲間にまで痩浪士こ賤しめられ、乞食非人を追ふごこき今の身の上、それに引き換へ小太郎勝義は父の仇を討つたりこて一天下の人に賞め賛やされ、將軍家より迎への使者山名監物に伴なはれ海道筋を華々しき上洛、榮枯盛衰は時の運こはいひながら憾うも人間の運命は變るものか、思へば殘念な事である』こ少時はイんで涙に暮て居たが斯くては果てしなしこ氣を取直して其儘何處へか姿を隱しました、其夜の三更を過ぐる頃に本陣の庭前へ忍び入りましたのは長一郎、夜になるのを待つて居たので、マンマこ庭前へ這入り小太郎の室は何處であるかこ見廻し見廻し樣の方へ近付いて來るこ向ふから廊下を踏んで此方へ來る者がある、之別人ならぬ小太郎の家來秋山熊吉であります、南無三人が見わる、見咎められては叶はじこ身を翻がへして隱れんこするを目早く見たる熊吉サテは曲者こ心得てヅカッガ緣先に出で 熊『何者なるかこ聲を掛たが答へもなく、黑に扮裝たる一人の男がバタバタこ向ふの方へ逃げて行く樣子に 熊『己曲者ござんなれ』こ庭前へ飛び下りたる秋山熊吉、宙を飛んで追掛來る、長一郎は躓ぬ事こて庭石に躓づき思はず横に打倒れるを起しも立てじこ熊吉飛び掛つて組伏んこする、組まれては一大事こ倒れながらに一刀引き抜き下から上へこ拂ひ上げる、熊吉刄の光りを見るより素早く跡へ飛退る、其間に辛くも起上がつたる長一郎、足出して塀際へ駈附け、一躍りつて塀木へ飛附き、其儘塀を乘越て逃去らんこいたしまする途端に一は一大事こ熊吉飛來つて袖を確こ摑んだ。

皮膚科 外科 專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二三五八番

京城本町 千代田號印舗 電話九八七番 口座九八七番

◎全州より（承前）

◆前述の通り各種の施設に多々經費を要するも急に施設を要するは下水道の完全なりこす然れども道は當分忍ぶべからざるを忍んで數年後の問題なるべきかこ云ふ◆全州の工業は將來益々發展の素地あるものゝ如し既成工場中指を屈するに足るものは東亞煙草の分工場なるべし、同工場にては目下十八馬力のサクション瓦斯を動かしなし專ら『朝日』の製造中なるが一箇月二十五日の操業にて一千捆を製造し一箇年一萬二千捆を製造する能率を有せり◆現在の職工は總數四百五十名にして内女子六十六人を算し内地人職工は僅に男女四名に過ぎず而して一箇月の工賃支拂は二千五百圓に達する由職工中女子にして能く働くものは一日四十八錢の上を稼ぐものありこは佐藤分工場長の直話なり

暦

八月六日 九星 舊六月三十日乙酉 本命九紫南滿大吉

[illegible]

山海の珍味も坐ながらに味へる 味の素

池田理學博士發明
文明的調味料
日英米佛專賣特許

味の素は小麥の蛋白質を原料として精製せる純白無臭の粉末で容易く湯や水に溶けるを以て頗る重寶の調味料です、其美味と滋養の點は一度お試しの方は御存じになります、殊に旅行に味の素さへお持ちになれば汽車、汽船の中海の上でも山の中でも到る處の宿屋の料理にも美味いものに不自由なき事受合也

味の素 子供印滋養糖 本舖 鈴木商店 東京 大阪

痔疾專門 京城久枝肛門病院
入院隨意 京城明治町二丁目本町より入る中程（電話二〇二番）

銚子港 田中玄蕃釀造 ヒゲタ醬油
代理店 京城明治町一丁目 櫻正宗發賣元 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

眼科專門 金井眼科醫院 京城若草町（新道路中程）（電一五五六）新築落成◉入院隨意◉日曜祭日午前中

外科花柳病 內科婦人病 入院隨意 醫學士 齋勇 醫士 齋豐次 大和病院 京城本町五丁目稲荷座前 電話二〇一二番

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽
司法大臣 松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士 法學士 加古貞太郎先生序文
舊韓國財政顧問附財務官 小笠原寬先生序文
法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂
大正七年一月一日現在 正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓 稅十八錢
本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮の道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたる一目瞭然たるものにして道、府、郡、島、廳、及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮、清、西歴の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戶數、道路里數、各道の廣袤交通、產物名勝舊跡、溫泉其他の概況を掲げ
本書は官廳執務上を初め政治家實業家學者、交通、產業其他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺く可らさる必携書也
發賣元 京城太平通一丁目 振替京城二〇〇番 京城日報社代理部

李王職御用 模範 牛乳 ニウソ 主監 醫學博士 肥塚正太
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話二一五

診察時間 自午前九時至午後六時 初診の御方は可成午前中
京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

第五版

[illegible]對支金融其他南洋印度等[illegible]に日本より觀たる支那市場として[illegible]時るを得ざるも先づ一箇年貿易額は七八億圓位にて彼の如き小港にしは長江[illegible]且つ南洋に對しては て此の額は決して輕視すべきもの日本内地より直接の取引あり旁々にあらず戰前の香港は英國の領地[illegible]不良の[illegible]多かりしが大部に[illegible]なる分子増加し來れるは誠に喜ばしきことなり從つて各種貿易並香港は中繼港にあり東洋に於ける[illegible]再輸出する方反つて便利多き有樣[illegible]ひたる者も一度神戶橫濱等に送り取つては有利なる地位にあり戰前後は從來英國品獨占なる市場なりし全部日本品之に代り現在にては日本品七八萬英品十二三萬位なり[illegible]本製品の需要左迄振はざるは日本品が品質に於て英國品に比し粗惡[illegible]

本紙定價 壹ヶ月金六拾錢 六ヶ月金參圓五拾錢 壹ヶ年金六圓 廣告料金 五號十五字詰一行 別段 一號 二號 ... 發行兼編輯人 奥山直藏 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話 振替京城三〇〇番

米國對支努力
銀行家國務省協定成る

米國々務卿代理は左の陳述書を發表せり

支那は米國の行爲に倣ひて一般的に對獨宣戰を布告せり故に米國政府は支那が中央列強に對する戰爭に更に特殊の援助を與へんが爲めに國力を充實せしめんとするの希望に對して特別の利害關係あるを感じたり現在に至るまで米國は歐洲戰に米國の武力を有効に傾注せしめんとするの準備に對する義務の爲めに支那が其希望を實現せんとするを援けんとする特殊の經濟的手段を執るを阻止し居たり然れども米國政府は支那領土に擾亂の現場に接近せるに鑑み支那人の爲めに完全なる手段を講ずべき特殊の努力を執らざるべからざる結果從來對支借款に關係し且つ東洋に關して經驗を有する米國銀行家は華盛頓に招集されて此の問題の關係者たらん事を求めたるが銀行家は直に召集に應じ銀行家及左の諸條件を提出したる國務省との間に協調成立せり

（一）借款は夫以上の借款に應ずべき米國銀行家の一團を組織し米國内各地銀行家の代表者を之れに參加せしむる事

（二）銀行家側は政府と相提携し且つ國務省に依つて定められたる政策を遵奉する事を保證す

（三）銀行團を組織する銀行名を國務省に提出して其允許を得ること

（四）借款は如何なるものも其期限及び條件を國務省に提示して其許可を得る事

（五）借款にして米國民と對手外國との間の自由交際を助長促進せんが爲め締結せられ且つ彼我兩國双方に有利なるものなりとして米國政府及び對手外國政府より其期限及び條件に關して承認を得ば米國政府は進んで有らゆる可能的手段を執つて之れを援助し且つ迅速にして有力なる呈示をなし而も外國領土内に於て米國人が誠意を以て行ひたる公正なる諸契約に對しては有らゆる方法を講じて其遂行を保證すべきを誓約す

米國銀行團は日英佛三箇國銀行家と相提携せん事を希望す目下の米國政府と借款成立の際は結局之に協同して其銀行家が同樣に其借款に加入するに至るべしと望まる、國々の諸政府との間に交涉進行中なるが尚支那が北部及び西部國境に於て遭遇しつゝある戰爭の如き狀態に鑑み如上の諸政府全部をして相協同せしむべき新刺戟を生じたり何となれば戰爭は右諸國及び其國民間に利益の結合を生ぜしめ且つ曾て存在したる障壁は打破せられて諸國民間の交際は更に容易となりしが故なり若し此の計畫にして成功せば其は一つの代理團として其役を爲すべく此の代理團を通じて此の利益の結合と海外に於ける吾人相互の利益の必然的膨脹とが適當となり且つ完全に關係せらるゝに到らんことは望ましき事なり（東京）

海運界の影響
太平洋運賃公定

大型船は期近物の出廻りと大手筋の見送りとに依り殆ど手合せなき爲依然持合の姿を呈し近海小型船は漸く船腹過剩を實現し來りたるも大型船傭船料の保合に幾分低落を支へられたる感あり然るに出兵問題實現の曉には運賃及び傭船料の當然引締る可きを豫想し思惑を策せんとする向ありしやに噂せられしが其の出兵程度は極めて小規模にして斯界を驚がす程度のものに非ざれば前途一段悲觀せらるゝに至れり而して米國に於ける太平洋の船舶局支部より華盛頓の船舶局本部に向つて船籍の何國にあるを問はず米國日本間運賃三十五弗、米國支那間四十五弗、米國新嘉坡間五十五弗に公定方申請したるが同國が曩に米國濠洲間の鐵材運賃を噸二弗廿仙に公定せる事に

獨軍退却續行
新陣地構成氣配

△退路整理 西南兩面より壓迫を受けたるフエール平野突出部附近の獨軍は歩々退却を續行しエーヌ河線に接近しつゝあるも獨軍の追擊戰軟弱なるに因るか敵の後衛戰の巧妙なるが爲めか聯合軍の退却は正々堂々と稱し難きも潰亂に陷らずして陣地後方の糧食彈藥等の準備倉庫を或は燒拂ひ或は貯藏物を運搬し毫も之を聯合軍に占領せしめず退路の整理を行ひつゝ退却を實行しつゝあり爲に此退却は極めて緩慢にして聯合軍の全力を傾倒せる管の追擊も獨軍に取りては甚大なる打擊と爲らざるが如く觀測せらるゝは遺憾なり

△新防禦地 歩々退却しつゝある獨軍は一氣にエーヌ河の線に後退する事なくフエール平野中其線は不明なるも何れかの地點に於て新陣地を占據し以て聯合軍に當らんとする計畫なるが如くなれば今後も後方の準備を整へつゝ逐次豫定陣地に退却すべく該豫定線に到達せば其軍容を一變し茲に退却を中止するのみならず陣地を確固にして聯合軍に對抗すべしと推測せらる而して今回獨軍が退却の餘儀なきに至れるは突出部の地形的關係が最大原因をなせるがソアソン附近に向へる聯合軍が詰だしく同地に近迫し重砲の射程内に追れる關係上同地は頗る危險に陷り殆ど獨軍の同地利用を許さざるに至れる結果フエール平野一帶の後方連絡は極めて不確實となりマルヌ方面の給養も鐵道に依り難き狀境に陷れるとも敵をして退却を決心せしめたる一因なるべし蓋しソアソンは鐵道の集中點にしてエーヌ河方面よりマルヌ河方面に到る物資は鐵道網の關係上一旦西進してソアソンに集め同地より更に輸送するの外途なく直接の輸送機關を有せざればソアソンの聯合軍の勢力下に立つに至りたるはフエール突出部の獨軍に取り一大打擊たればなり

△現在戰線 兎に角獨軍の退却を追尾して攻擊前進せる聯合軍は最近確實にソアソン、ウルシー、フエールアンタルドノア、ヴイルアグロンエグシー、ロミエー、シヤンブルシー、ヴリニー、ランスの線に達しマルヌ河南岸の獨軍侵入陣地より約廿基米突（五里前後）北進せる割合にして聯合軍としては固より成功たるを失はず唯今後獨軍の何れにか踏止らんとする計畫を觀破するや否や聯合軍の追擊を如何に擊退し得るや否や聯合軍の追擊戰如何によりては必ずしも獨軍をして完全なる退却を可能ならしめざるべし

日盛り　石田富造筆

水に困る浦鹽

氣候は今が丁度五月頃、時節柄問題の中心點たる浦港の狀勢に就き多年同地に在りし某氏は語りて曰く

◇浦鹽は丁度我が函館の如き地形をなし其市街の如きも大半は[illegible]せる山々の中腹に軒を並べてゐるロシヤ島を廻つて灣口に入れば其岸市街エゲルセリズの一帶には西伯利亞鐵道の起點驛要塞司令部、稅關及び諸軍隊の軍營が嚴めしく姿を連らねてゐる、チェック軍の本部も前述の要塞司令部に置いてあるとの事である、チェック軍の

◇結束は刻々に固くなる許りで其善報は刻々に知らせて來てゐる、夫は兎に角我軍が浦鹽に上陸するとすれば第一番に困るのは水である、こんな事は既に世間周知の事であらうが一杯の水を呑み一碗の水を削むにも本來なら市街の中央から後方へ山を一つ越ゐたベール[illegible]運んでゐるのだ、從つて水と云ふものが非常に貴重な物となつてゐる一寸風呂に這入るにも一時間十留位は要る尤も混浴なら三四留で足りるがそれにしても我國の湯屋する程に水を粗末にさせない

◇尚ほ此河の水が非常に醜惡があるから石鹸が用をなさぬ、氣候は昨今が丁度我國の五月の初旬位暑くなれば大抵我國と大差はない然し空氣が乾燥してゐるから人の健康には最も適してゐる水が惡い通りであるに反し魚類は至つて廉い二尺位の鯖が一尾一錢か二錢で買へる甘いのは蟹とナマコとで江から漁つてくる大蟹と云ふのがあるが之は不味い

並行線 （四十七）
瀧閑村

興津の伊藤の別莊は、清見寺と並んで形勝の地を占めてゐる。前には鷗のやうな白帆を載せた濃碧の海、後には雨のやうな蟬時雨を湛へた古松の林、蝉も蜻蛉も一所に吹き拔ける凉風に、軒の風鈴は音を立てるに忙はしい。

其應接室に宮太郎は伊藤と相對してゐる。伊藤は宮太郎の説明を聽き、其の標本を見終つてから、無造作に金口のエムシーシーに火を移して、

『面白さうですね、併し會社を起してやつて見る日になると、縣下の原料だけでは少し不足なやうだが若し不足だとすると、近い縣から集めねばならぬ、其邊の調査もして見なければならんし、工場の位置も考へなければならない、がそれらに就て御意見はどうです？』

宮太郎は吹き捲くられる羽織の裾を氣にし乍ら

『御尤もです、工場の位置は富士か駿東郡の中で水利の便のある所を選びたいと思つてゐます、原料の點に就ては本縣外はまだ調査が不充分です』

『其製品の販路や、値段などの經濟上の調査はどうです？』

宮太郎は風呂敷の書類中から三四枚綴つた罫紙を出して、

『實は其方面は私にはよく判らないのです、是は極簡單な、そして杜撰な調査ですが、御參考迄にお眼に懸けて置きます。』と差出した。

伊藤は其書類へも一通り眼を通して、

『御話はよく判りました、併し私とするとモウ少し詳しく調べて見ないと、果して手を着けていゝやら惡いやら確とした事を申上げられないで甚く私の手許に預けて置いて下さらんか。』

『承知しました、有體に申すと私には只紙になると云ふ事だけしか判らんことですから、どうぞ十分に御調査を願ひます。』

用談はそれで終つた、女中が運んで來たアイスクリームを啜め乍ら打明けて話しかける、

『私も忙しい爲に御無沙汰して久しく汀藤さんにもお眼にかからないが、相變らず御達者ですか、もう大分お齢になつたでせうね』と微笑する。

『わ、達者は甚だ達者のやうですが……』

話がかゆつたと思ふと、沖の方からインキを滲ませたやうな雲が湧いて、見る見る陸に押し寄せて來た、凉しい風が更に激しくなつた。

『何だか曇つて來ましたね。』

『貴方は朝鮮へ入らしつたやうですが、彼地には何年ばかりお在でした？』

『五年足らずでした。』

『主として京城にお在でですか、成程、彼地にはまだ手を着けてない色々の面白い事業がありませう、私の知己でも彼地で事業してゐる者が澤山あります、私も一度行つて見たいと思つてゐるが、まだ果し得ません貧乏暇無しでね……』

ポツポツと落て來たかと思ふと沛然として急雨殺到、樹をも草をも犬をも人をも倒れよと撲つ、二人は話を中止して均しく空を見上げた、

『い、雨ですね。』

『ハア、い、雨です。』と宮太郎は近來に無い快ささうな聲で答へた。

春雨　靜軒　若森久高

瀟瀟春雨草猶肥。一夜無聲濕我扉。曉起徘徊南畷外。茜霧徐逐落花飛。

蕃堂曰、幽情可掬。

春日偶成　稍堂　平林邦路

峽雨狂風飛萬花。春天萬里却座遮。百年誰御經綸策。一擲乾坤定國家。

蕃堂曰、是詠支那近事者、後半頗爲同感。

曉發函館　觀堂　宮田泰岳

曉暾先照臥牛山。海霧猶深巴字灣。驛路一條天杳杳。孤身遙向北門關。

蕃堂曰、風景宛然、在眉目之間。

朝鮮總督府政務總監 山縣伊三郎閣下題言
貴族院議員 德富猪一郎閣下序文
元京城學校組合會議員 朝鮮總督府囑員 吉田英三郎著
朝鮮書畫家列傳 定價九十錢
發行所 京城太平通一丁目(振替京城三〇〇番) 京城日報社代理部

誰にも出來る大懸賞が無代進呈の見本にあり
答案方法簡單 當選者二百名
一ヶ年卒業の實業講習錄
實業的新知識を備へざる者は成功する能はず速に本會に來れ
今や實業の天下なり
最新式通信教授 實業學校に通うと同樣の學力が自宅獨習にて得られる
大特典 只今入會する人には ▲本社發行雜誌半額券進呈 ▲入會金免除 ▲水書草紙進呈 ▲獎學金提供
大懸賞問題附見本「無代進呈」 ハガキにて御申越次第に御送りいたします。見本には特別大懸賞問題の外講義の内容、會則及び入會の手續等悉しく掲載す。
講習科目 ▲商業簿記 ▲銀行簿記 ▲商事要項 ▲商業作文 ▲實用習字 ▲珠算暗算 ▲商業地理 ▲商品學 ▲經濟講話 ▲實業讀本 ▲商業英語 ▲商業數學 ▲實業歷史 ▲商業實務 ▲處世法 ▲科外講話
總裁 大隈侯 副總裁 澁澤男
顧問贊助員 法學博士 新渡戶稻造 貴族院議員 鎌田榮吉 法學博士 高田早苗 男爵 大倉喜八郎 男爵 阪谷芳郎 男爵 安田善次郎 男爵 近藤廉平 其他博士校長大實業家等數十名
大附錄 書翰習字 筆跡が善くて手紙上手の青年は採用も早く出世も早し此の習字は種々手紙の例を集め手紙の上達する方法を取る
本講習錄の大特色 一、説明が平易で誰にもよく解る 二、カナ附で誰にも讀める 三、學科は皆實際の役に立つ 四、最新最良の學科と講義 五、卒業が早くて成功も早い 六、講師は新進の大家自執筆 七、每號切で勉學至便なり
會費 一ヶ月分 六十錢 二ヶ月分 一圓二十錢 三ヶ月分 一圓七十錢 六ヶ月分 三圓三十錢 一ヶ年分 六圓
東京市京橋區南紺屋町二十 實業之日本社内 帝國實業講習會 振替口座東京四〇〇一六番 電話京橋 八四七・八五一六

富の道しるべ 小野五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 振替京城三〇 京日代理部

購買入札 一、汽罐檢查用水壓ポンプ拾臺 外一點 右購買ス入札希望ノ者ハ本日以降總督府官報ヲ見ヨ 大正七年八月五日 朝鮮總督府遞信局

競爭入札 購買 乾電池 外一點 加入者ハ詳細八月五日ノ本府官報ニ在リ 大正七年八月五日 朝鮮總督府警務總監部

原料貸與 職業 前途最有望なるパナマ帽子及ゴム靴業年中無休自宅就職製品引受工賃現拂料一圓五拾錢迄確實案内書郵一報次第呈す 大阪本町 振替大阪一〇七〇六 代理店募集 東洋物産合資會社

最新刊 京城本町 大阪屋號 電話六四番 一二〇八六番 振替京城二五七三番

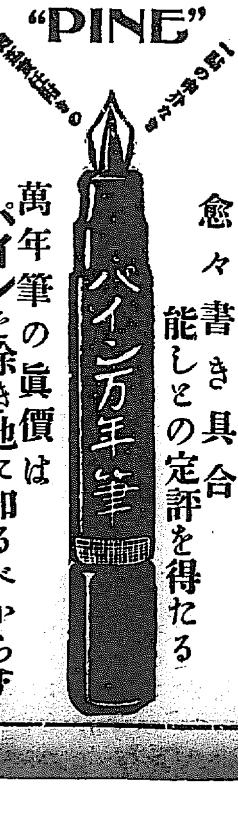
書名	著者名	定價
日本鑛石學(四卷)	和田 岩崎重三	四・二〇
江戶懷古錄	熊田葦城	二・五〇
建國史	新渡戶稻造	二・二五
宗教統一論第一卷	米田三五郎	一・八〇
[illegible]秘錄	香雪散人	一・二〇
東京寫眞帖		五圓五十錢
圖書總目錄		
ゲーリー式の學校	田中弘吉	七五
大統領ウイルソン	田中達	一・二〇
大聖釋尊物語	戶部鴨村	一・〇〇
山水小說	田山花袋	一・一〇
義時の最期	坪內逍遙	一・二〇
總督府編 朝鮮大地圖		折製五十錢 軸製參圓五十錢
愛草集	泉鏡花	一・八〇
寶庫西伯利(山地視察)	野守廣	一・二〇
人	道吉不二夫	一・六〇
鼻	芥川龍之介	五〇
東韓文規附反文例	坪內孝	八五

英語世界 八月號 定價金拾五錢 郵税一錢 振替東京二四〇 東京博文館
▼英文日記(八月)…山川作治郎 ▼商用英語…早實際師前田定之介 ▼語句の省略…早中講師本山飛夫 ▼書簡の製法(リーダー講義)…石黑魯平 本野子爵(現代名士の少年時代) ▼愚かな騎士(リーダー講義)…岡村千曳 ▼かみなり樣(尋常小學讀本第五卷より) 海軍生徒採用試驗英語問題解答 ▼名詞意外集…▼雨の歌…櫻井 ▼英語の新聞…早大教授増田藤之助 ▼夏休みの對話 魚と馬 ▼游泳倶樂部(叔父と太郎と次郎の對話) 初等時事英作文…宮井早大教授 ▼海神Neptune…▼外國通信 外數件 山と海(初等英作文練習) 慶大教授 堀英四郎

植物油 胡麻油 荏子油 大豆油 蓖麻子油 同白絞 糠油 菜種油 東柏油 同白絞 ボイル油 並に油粕
謹啓各位益々御清穆の段奉賀上候扨て弊所左の製品は御實小賣共特別廉價を以て販賣可仕候間多少に不拘御用命の程偏に奉願上候
京城南米倉町 京城製油所 電話長一六三〇番 一九一七番 五九五番

朝鮮總督府編纂 朝鮮大地圖 ▲八十萬分ノ一縮圖 縱四尺五寸 橫二尺五寸 ▲折圖定價三圓五十錢 ▲折圖送料十二錢 ▲軸製送料要實費
本圖は總督府土木課の編纂に係り其正確なるは言を俟たず其最も特色とする處は道路にあり、即ち鐵道、一二三等道路を既成未成に別ちて最も詳細を極めたり、又諸官廳所在地の正確なるは其誇とす

愈々書き具合能しとの定評を得たる
萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず
"PINE"



特許既願防破裝置附 繰出式萬年筆 金六圓八十錢 インキ止式短軸 金四圓九十錢 インキ止式實用向 金三圓八十錢 パイン學生號 金二圓八十錢 ビジネスペン(事務用) 金一圓九十五錢
不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕
發賣所 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 電話長六〇〇九番 構内十八番 京城日報社代理部

東部西比利亞大全圖 附 歐亞露西亞現勢一覽圖
◆今や西比利亞の形勢重大を加へ我が出兵の擧又近きに在らんとして新聞紙上その記事を見ざる日は一日もなし此地圖なくして新聞紙を讀む者は『靴を隔てゝ痒きを掻く』の感なきを得るか正確と詳密とを以て一大特色とせる此の西比利亞大全圖こそは全く時勢の要求に成れるのみ
定價金七十錢 送料金四錢
▽縱三尺六寸 ▽橫二尺六寸 ▽石版五度刷 ▽印刷最鮮明 ▽上等紙使用
西比利亞研究會編 東京市神田今川小路二 忠誠堂 電話本局四九六六 振替東京二〇四三二番 京城本町 大阪屋號 電話二五七三

◇更に○○○下る

○日○○○に對し更に○○○下れり(四日午後五時半發東京特電)

◇出兵宣言反響 對露 如何

對露出兵宣言に對し何等の反響を認めず米國諸新聞は沈默し居り宣言發表せざるが如し(東京特電)

◇出兵と日支交渉

滿蒙出兵に伴ない日支協約に基づく兩國の交渉近く開始せらる可し(東京特電)

◇西伯利財源開發

西伯利政府は各國の援助を求め西伯利亞の財源を開發し事業を興さんとし目下交渉中なり(浦鹽電報)

◇對露貿易發展策

在浦鹽邦人商工會は農商務省に對し和製品濫造取締を請願し商品檢査機關を設け對露貿易の發展を圖る可し(浦鹽電報)

◇俘虜活動盛ん 獨墺

ハバロフスク監獄中の獨墺俘虜は其の後の活動に關しては目下西伯利各地電信不通の爲不明なるも聯合側出兵斷行と共に獨墺俘虜の活動盛んとなりチエツク軍に對し逆襲を加へつゝある模樣にてニコリスクは過激派に奪還されたりとの報あり(東京特電)

◇支那軍隊派遣乎

過激派軍隊は滿洲里に駐屯支那軍隊の兵力微弱なるに乘じ二十八日より同地に入込み其數五百に達せるより支那政府は急遽軍隊を派遣の爲め張奉天督軍其他の意見を徴しつゝあり又一説には共同出兵に反對ある爲め反對論緩和の爲め意見を徴せるなりとも傳へらる(北京特電)

◇ア將軍暗殺と獨紙

獨紙はアイヒホルン將軍暗殺以前波蘭の掠奪、鎭定の爲め二千の獨兵を派遣せりと報じ又バクーの油坑は職工罷業に瀕し工場を去り作業殆ど中止の狀態なりと報ぜり(倫敦電報)

◇米佛軍展開運動

米佛軍はフエレ、アンター、デノア東方の廣大なる地點に於て獨軍の退却を脅威し展開運動を開始し聯合軍は東方に非常なる前進を爲しセルジー附近のシヤメリーに接近せりと(倫敦電報)

◇大豫算案提出 理由

英國藏相ボナーロー氏は七億磅の豫算案提出に就き曰く此大豫算は支出增加にあらず議會の便宜の爲なりと(倫敦電報)

◇米自由公債募集

米國大藏省の發表に曰く第四回自由公債募集運動は九月二十三日より開始し三週間繼續せらる可し(華盛頓電報)

◇重要事項協議 上原參謀總長以下參集

四日日曜に拘らず上原參謀總長、田中次長、菊池總務部長以下各部課長は午前九時半過より相前後して登廳重要事項を協議し田中次長は同十一時十五分大島陸相を官舍に訪ひ長時間協議の上更に參謀本部に入れり陸軍省にては早朝より會議室に軍醫部長會議あり島川技術審査部長は兵器局に出頭會議し山田次官は午前八時半東京驛發列車にて何れにか向へり(東京特電)

◇臨時新聞局改正案實施期

臨時新聞局改正案は一兩日中に法制局に回附八月中旬實施の豫定なるが內務大臣直屬局長は永田保局長當分兼任となり書記官以下檢閲官には現行新聞課長現內務檢閲官たる天谷事務官以下四名の他陸海外務等より選任し總計八名乃至十名なりと傳へらる(東京特電)

◇大阪鮮米賣出

大阪にては五日より每日五千俵づゝの鮮米を賣出すべし(大阪特電)

◎滿洲勞働者 拂底

滿洲に於ける下級勞働者の拂底は[illegible]ものあるも之と共に從來旅費の前貸をなし[illegible]何等支出を要せざりしに茲も[illegible]ありて漸次減少しつゝあるが其の時工事の盛期に際し斯の如き情勢は勢ひ勞賃を引上げ之が招致策を取りつゝあるが如し殊に[illegible]ふ之に就き某消息通の談に依れば滿洲工事界が昨年以來材料及び人夫賃の暴騰を來せるは[illegible]する所なるも左りとて竣工期限を遷延せしむる理由となす能はず[illegible]く勞銀の引上げを以て優遇せるに[illegible]

◇兒島司令官

新任兒島朝鮮憲兵隊司令官は四日午後四時東京驛發にて赴任の豫定なり(四日午後二時半發東京特電)

◇美濃部總裁

上京中の美濃部鮮銀總裁は四日午後四時東京驛發列車にて歸鮮の豫定也(四日午後二時半發東京特電)

◇江藤代議士出發

政友會朝鮮議員江藤哲藏氏は朝鮮、西伯利亞各地視察の爲め四日午後四時東京驛發列車にて旅途に就く(東京特電)

加藤本社長送別會

上京中の加藤本社長は近く歸鮮に就き五日午後六時より築地精養軒にて在京鳥取縣人發企の送別會、同六日午後六時より星ケ岡茶寮にて湯本武彦、上杉博士等發企の送別會催さる(東京特電)

◎地方在米薄

米價は奔騰に次ぐに奔騰を以てし四日京城の小賣相場は白米三十四錢五厘を示すに至れるに拘らず地方よりの入米多からざる等の點より觀察すれば鮮內に於ける地方在米の多からざるを知り得べく少くも東拓を初め大農場等には貯米なしとの事にて目先尚は若干の高値出現は免れ難からんと稱せらる

◎煙葉輸出制限問題に就て ―某製煙家談―

煙葉輸出制限問題は半島產業界に於ける近來の重要問題の一として先づ東亞の馬詰氏に依つて唱道せられ之れに對し忠州耕作家の反駁となりたるが吾人亦重大なる利害關係者として一言する所なかるべからず先づ忠州耕作家の述べられたる所は匿名なるを以て敢て反駁を試みざるも

▲事實の相違 せる點はあり誤解を防ぐ爲之を指摘するの必要あり即ち(一)原料葉煙の價格外國煙草に比較して騰貴せる歩合低しとの耕作家の見解は事實にあらず現今朝鮮に於ける葉煙耕作に依る收穫は殆んど凡ての對抗作物の收穫よりも遙に優良なることは何時にても計數を以て明示することを得(二)忠州產葉煙は從前凡て東亞會社にのみ供給賣渡しを爲したるがため其取引價格は常に不利なる低價に依り決定せられたり云々とあるも之れ甚だしく其事實を誤りたるものにして吾等同業者は何れも忠州耕作組合と交渉して供給分配を受けつゝあり現に昨秋の葉煙は東亞會社を始め朝日、大正、西田商會、東光社、其他南鮮同業者及び葉煙買受者に至る迄各公平なる供給分配を受けたることは何時にても亦其の計數を以て明示することを得

抑も葉煙界の近況如何と云ふに客歲以來歐洲大戰亂の影響を受け流石に世界の大產地たる米國に於ても原料煙葉の

▲大缺乏を告 げ其の影響は終に朝鮮に迄及ほしたるものにして內外原料輸出「ブローカー」が買入を爲すに當りてや其の價格の如何を論ぜず數量は多々益々辨ずるの有樣にして極めて大規模に傍若無人の買占をなし之が爲め客冬以來市價の暴騰に加ふるに原料の供給拂底し終に釜山、大邱、京城其他各地の製煙業者の原料若くは休業するもの屈指に暇あらず彼の東亞の大を以てするも尚若干の苦痛を受くるを免れず終に製煙界の危機を叫ばしむるに至りしは決して偶然にあらず元來吾々製煙業者と原料耕作人とは從來密接なる關係を有し即ち東亞及び朝鮮煙草會社は內地、亞米利加及び支那方面より每年若干數量の

▲原料產葉を 輸入して製造原料に使用しつゝあるも此二者の外の凡ての同業者は如斯實力餘裕なきを以て製造用原料は専ら之を朝鮮產葉の供給を仰がざるべからざるを以て今回の如く米國輸出の目的を以て大々的買占を爲すもの出現するときは忽ち我は原料を剝奪せらるゝの危運に陷るに至るべし而も此大買占に因る利得は何人の手に歸するかと云へば我々製煙業者は却つて被害を蒙ること前述の如く耕作家と雖も平時に比し僅に二、三割の增收を得るに過ぎず最も少數なる內外の葉貸「ブローカー」と稱する手合が主として暴利を貪るの結果に終れり今後と雖も亦同一狀態を繰返すに過ぎざるべし一面に於て斯の如き原料の拂底價格の暴騰はさなきだに製煙用諸物資諸材料の暴騰に苦しみつゝある製造業の生產價格に多大の影響を齎し製品の値上を一層甚だしからしむることゝなるべし之皆に資を喘用する事殆んど

▲日用必需品 に近き狀態の上にある半島鮮人の所謂國民的經濟の上に重大なる影響を齎すところなり春秋の筆法を以てすれば外煙の經濟的侵略は朝鮮の製造貨の市價を暴騰せしむとも稱すべし

以上の見地よりして吾人は當局に於て速かに臨機の處置を講ぜられ一面葉貨輸出數量を制限せらるゝか然らずんば吾々製造同業者に對する原料の分配及び市價の決定等を從來忠州產葉に對し施行せられたると同一方法により大邱、密陽、寧越、滿州其他各地に實施せられ今回改正の賣稅令に對し所謂

▲畫龍點睛の 效果を收むると同時に賣稅源を涵養する上に就て目的を達成せられんことを望む而して原葉は鮮地の製造に餘剩あらば之を輸出に供せられむことを望む

▲朝鮮產煙葉輸出の好時機 某有力貿易業者談

葉煙騰貴の結果が製造業者の不利益を來し更にその影響は製造賣に轉嫁されて行くから賣の

▲輸出を制限 し市價の抑止を圖るのが必要であると云ふ馬詰氏の意見は一應尤もに聞かれる然し乍ら朝鮮產煙葉の將來に就て觀ると遺憾ながら予は馬詰氏等の意見を自己中心の主張と斷せざるを得ない一體朝鮮に於て國際輸出向の生產品は何があるか、稅關の統計表を繰り展げるまでもなく人參と少數の海產物と[illegible]其他數點に留まつて甚だ振はない、而も石や黑鉛は外國の需要があれば鑛量も少からぬのであるけれど輸出制限の厄に遭つてゐる、乃ち煙葉の如きは純輸出本年の上半期に

▲九十五萬圓 を示し昨年の二倍を示してゐるのは甚だ心强く思はるゝのである、而して此の朝鮮產葉を米國に賣り込むと云ふ事は世界的に產葉の缺乏してゐるが今日が最好時期である、此の千載一遇の秋に於て朝鮮產葉の米國に於ける需要の基礎を確立するといふ事は朝鮮產葉の前途より見て必要であり、此時期に投じ朝鮮產葉の販路擴張をやるためには朝鮮產葉が若し騰貴し製煙業者の利益が薄くなり更に煙草價格が上り一般需要者の不利を來しても其の位の犧牲は朝鮮として忍んでよから、又忍ばせて

▲差支へない と思ふ、東亞煙草では本年の良煙葉を各地に亙り買收の步を進めてゐられるらしい、京畿、龍仁產葉の良品二十萬貫の如き全部一手に收められるやうに聞く、それを不可と稱ふるのではないが、成る可く良煙葉は高値に米國に輸出して鮮葉の價値を認めしめ販路を擴げ鮮內の製煙は次位のもので充たしたがよくはない乎さすれば良煙葉栽培者は收利も多く次年には一層耕作面積も殖ゆその他の耕作者も增加し輸出貿易品の產額が增して行くであらう、朝鮮にドノ位

▲煙草の耕作 に適する面積があるかを予はよく知らぬ、然し少くも大豆栽培の如きは必ずしも朝鮮に作らぬでも滿洲に幾千でも產出するのであつてその產額の減の如きは多く患ふるを要しない、それより高價な有利な賣の耕作をなし得らるるものならば大豆の如きも賣に移らするが好い、斯樣な點に於て朝鮮產煙葉の輸出制限を假令一年でも實行されるやう當局に要望する如きは朝鮮生產界のために悲しむべき事と信ずる

◎地主移民入選

本年東拓にて募集中の第九回移民の應募總數は既に第一種自作移民第二種地主移民合計約六百戶に達したるが右の中地主移民は五十戶の募集に對し既に百二十戶二倍半の申込みあり尚增加すべき豫想なるがその理由は近年地價の騰貴四分の一乃ち千圓乃至二千圓の資金にて會社より十町步の水田或は畑の讓り渡を受け得るに付その殘餘の四分の三を年賦償還にて會社に納入するも農產物價格の騰貴せる今日に投資額の三割強の利廻りとなる事を觀取せるものにて然も年賦償却終れば地主となり得る事を見込める故ならん一方會社にては應募者の人物を考査の上苟しくも移民規則に定め居れる如くその一部をも自作せざるやうの疑ひあるものは絕對に採用せず又採用の上渡鮮後も一部の自作をなさざるものは止むを得ず解約を斷行すべく眞個朝鮮開拓の志を抱くものを收容せん方針なりと

◎北鮮三港貿易額

北鮮の三港たる清津、城津、元山に於ける本年一月より六月迄の輸移出入貿易額左の如し

▲清津港 輸移出八十五萬四千二百五十三圓、輸移入百六十一萬九千五百四十五圓、計二百七十五萬三千六百四圓

▲城津港 輸移出二百三十六萬五千五百四十三圓、輸移入五十二萬六千五百七十七圓、計二百八十九萬二千百廿圓

▲元山港 輸移出百六十九萬九千七百十七、輸移入三百三十五萬九千五百五十九圓、計五百五萬九千百七十五圓

◎英國の新政黨 自由黨急進分子

英國に於て新政黨の出現を報ぜるが右は其創立者の顔觸れ及び其の黨以外に別個獨立の政黨を組織し政綱なるものを一にするに是れ既存政黨以外に別個獨立の政黨を組織せられたりといふより寧ろ自由黨內に現內閣の政綱を喜ばず從つて政爭休止を打切らんと主張しつゝある急進派が

▲自由黨革新 の旗色を明かにしたるものと解するを得べし即ち右創立者と稱せらるゝチヤールス・トマス・キング氏、アルバート・スミス氏、ピー・ウイルソンラフアン氏、シドニー・アーノルド氏は何れも籍を國民自由黨に置ける議員なるもキング氏は社會主義的色彩を帶べる新聞記者たりスミス氏は多年勞働組合の指導者たりラフアン氏は土地問題に關する權威者たりアーノルド氏は有力なる自由貿易論者なる等何れも軍國的反動政策に對する自由主義及び社會主義的傾向を帶べるの士なり元來內閣の政策に對する不平は過般來英國政界の各方面に鬱積しつゝありて一方勞働黨內には急進派なるラムセー・マクドナルド氏等が獨立勞働黨を中堅として現內閣に反對し機會だにあらば之を顚覆して平和論者なるランスダウン卿及びグレー氏を擁して新內閣を樹立せんと畫策する所ありしも今秋に行はるべしと豫期せられたる總選擧が再び明年一月まで延期せらるゝあり爲に其の計畫も一時頓挫を來せるに際し今回右の如く自由黨內の急進分子が反政府熱を高めて遂に新黨組織を策するに至れるものにして現內閣に取り

▲强敵の出現 せるものと解するを得べし只今回の新政黨と過般の獨立勞働黨躍起運動との間に如何なる脈絡の存するものあるや明白ならざるも國際平和の維持、資本に對する課稅、自由貿易、鐵道、鑛山、工場の國有、無料教育、養老年金の增加、徴兵廢止、稅號廢止、上院廢止等其の政綱として宣言する所は純然たる勞働黨及び社會黨の主張なるより見るも此新政黨と獨立勞働黨とは合同又は提携の可能性を有するは明かなり果して然らば英國現軍事內閣の前途には容易ならざる難關の横はるものと解するを得べし(東京)

◎交戰團體承認問題

廣東政府よりの交戰團體承認要求は三日我政府へも到達せるが從來米國は南方派に同情を表し居る關係上率先に承認す可しと觀測する者あるも若し然らんか是れ大問題なる可きを以て我の日米共同宣言もあり且つ支那に對する特殊的地位を考慮する時は出し拔き的承認を與ふるが如き事無かる可く各國は先づ日本と內協議を遂げたる上にて決定するならんと觀測さる(東京特電)

◇曹錕南下條件

曹錕氏より南下條件として左の如く述べ來れり(一)四川經略使權限擴張(二)同使經費は每月十二萬餘元(三)更に江西に旅團組織を爲し此經費月八十萬元其他の經費三十七萬元なり(北京特電)

◇廣東政府承認 依頼

外交總長伍廷芳氏の名を以て各國公使へ廣東政府承認方を依頼したり(北京特電)

◇天津會議紛糾

天津會議は今尚は紛糾を重ね決定せず張作霖氏は復辟運動を爲さんとするの噂あり形勢頗る混沌の狀態也と(天津特電)

人事消息

▲石井柏亭畫伯 二日大連に到着(大連特電)

▲成毛基雄氏(埼玉縣內務部長) 四日夜渡京奉天へ

▲津川庄一郎氏(本渡京城銀行支配人) 同夜入京山本旅館へ

◎連絡船上陸客 三日

◎三日午前入港新羅丸一二等客 一等(百二十六名) [illegible] 四名 坂東本丸、同秋葉、西村四郎 [illegible] 鶴五郎、同正信、茶木清八郎、同ふじ子、同きみ子、同えし子、高野喜代藏、渡邊久四郎、坂本捷吉、西田一、土井彦三郎、橋都正、同さめ、村村はつの、村瀬つる [illegible]

◇長春○○○○

[illegible]て水泳及び消防の練習を開始せり

◎加奈陀丸乘組員[illegible]

[illegible]

移轉御披露

今般左記新築家屋へ移轉仕候

京城本町二丁目卅三番地(京城銀行前)

花本高等洋服店

電話四八番 振替京城九六一番

金特

にならる近道はなにない、廿圓の資本で安全確實に儲かる株式投資法説明書中込次第送る

東京市芝區愛宕町二ノ一 電話芝三九九六番 振替東京四二〇五〇番

內外諸公債株式 債券現物問屋

葵屋商店

▲パインAG三分計體溫器▼

◎四大特徴

(1)示度正確

(2)誰にも見易し

(3)感應早し

(4)決して狂はず

◎農商務省示度標準計に依る檢定證及年齡別平均體溫表添付

▲優美サック入定價壹圓五拾錢 送料 鮮內 外 三十二錢

パイン檢溫器發賣元

京城大平通 京城日報社代理部

電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇番

內科 胃腸病 診察夜九時迄

京城黃金町一丁目

石川醫院

電話一二七二九番

人事周旋業 百般

京城府明治町貳丁目

萬年社

電話長一八四四番

滿天下の賞讃を博したる人蔘エキス

定價 內用

△七日分、金五十錢 △十四日分、金壹圓 △三十日分、金貳圓

△四十七日分、金參圓 △八十五日分、金五圓 △百八十五日分、金拾圓

陸軍御用 元祖

人蔘エキス

朝鮮高麗人蔘(白紅)直取引貿易商

京城本町一丁目

津村兄弟商會 本店

人蔘エキス本舖

電話一四八〇番・振替京城三五一一番・取引百三十銀行

京城本町一丁目

電話一八七〇番 津村兄弟商會支店

朝鮮釜山大倉町 電話三九四番 津村兄弟商會釜山支店

大邱驛前 大邱支店

大特約店

京城本町二丁目 山岸天佑堂

京城本町四丁目 木村藥舖

京城本町二丁目 北島藥舖

其他朝鮮全道四百十ケ所 日本各府縣、樺太、北海道、臺灣、支那、滿洲、二百卅ケ所に特約販賣致させ居候間御用命願上候萬一品切の節は本店に御注文被下候はゞ直ちに送達申上候

品質優良藥効の顯著なる人蔘エキス

鑛物分析

京城太平通一ノ二三六

電話長二八二三番

松永分析所

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)

電話二六〇〇 一八〇〇番

酒井婦人病院

院長 酒井一郎

藥草 淫羊藿エキス

定價 三十五瓦入 金壹圓 四十五瓦入 金壹圓五十錢 五十瓦入 金貳圓三十錢

送料 鮮內 二十錢 外 三十錢

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之れを服用する時は靈妙なる効驗ありと支那朝鮮兩國人に愛用せられしが產出一地方に限られて彼の高麗人蔘の如く廣く用ひられず普く知られざれども其の効驗は遙かに人蔘を凌駕すとて醫家の重用する所なり今や醫院試驗所乃至藥家に於て研究中に屬し未だその成分は發表なきも强壯劑として將亦精力增進劑として有効なることを認識されたり加之本劑は東醫寶鑑其の他の醫書により其の効能の顯著なるは明白なりと雖も何なる成分が人體に有効なるかは彼の神秘的なる人蔘と同じく明白ならざるが故に姑く疑問の解明を將來に待つ外なし併して之れを社會に提供するに至りしは其の實驗上斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失と思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師をしてエキスとなしたるものなり

十効

一、神經衰弱症 一、胃腸病 一、ヒステリー

一、貧血症 一、腦病 一、ヒポコンデリー

一、腎臟病 一、生殖器病 一、老衰

一、脚氣病 一、リウマチス 一、精力減退

以上に依り適應症左の如し

一、精力を盛んにし精神を爽かにし腦力を增し元氣を良くす

二、思考判斷及記憶力の減耗を癒す

三、讀書計算の疲勞を癒す

四、安眠し亦眠の疲れを除す

五、筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す

六、消化及便通を良くす

七、產前產後及病後の衰弱に良し

八、血の道氣鬱症に良し

九、子なき人に良し

十、貧血虛弱を癒し營養を良くす

十一、手足腰膝の冷ゆるに良し

十二、陰萎遺精及子宮病に良し

十三、寒熱に良し

十四、長壽なるべし

用法及服量 一日半グラム乃至一瓦を溫湯に溶解し若くはオブラートに包みて飮用す

注意 空腹の時飮用するを良しとす。エキスは香氣苦味を併有す葡萄酒にて呑下すれば樂なり。本劑は少くとも一ケ月以上繼續して服用すべし然らざれば効果少し。六ケ月以上に至り効能特に顯著なり半グラムは小豆大一グラムは大豆大なり

▲本代理部は御承知の方へは前金にあらざるも送品可仕候得共成るべく前金(京城日報代理部 振替京城三〇〇番へ拂込み通信欄にて御注文の事)にて御申越被下度候然らざれば代金引換便にて御送り申候に付御損と相成可申候

▲價格五十圓以上一ケに御注文の方へは一割の特別割引を可致候

▲本藥取次販賣の御希望有之候はゞ御相談可申上候

全國一手販賣 京城太平通り 京城日報社代理部

電話長六〇〇九番構內十八番・振替京城三〇〇番

京城特約店 山岸天佑堂 北島支店

上多大の困難を感じ此際何等かの[illegible]せざるべからず加ふるに[illegible]りて騰する天津方面より募集するは途中より利に趨き逃走する者等多分招致し得られざる有樣なりと云ふ[illegible]甚だしく苦力賃は目下八十錢より[illegible]にして現實者の均しく痛切に感じ[illegible]努力せり苦力等は[illegible]せしめつつあり

[illegible]郞 外人二名

◇消防隊[illegible] 城津消防隊[illegible]は三日午後一時より鹿浦對岸の漢江に[illegible]

◇萬歳の聲 〇〇に應じ續々出發する〇〇〇〇 ＝四日夜南大門驛にて、南行列車將に發せんとする刹那＝

米一石が三十錢

無代も同じ寛政頃の相場

その頃は四錢三厘あれば一箇月食た今では一斗二圓五十錢としてもその六十倍

日本人の一日も缺くべからざる米の價は騰騰に騰騰を以てし今や殆んど底止する處を知らざるの狀態にあり現に京城に於ても一升三十四錢てふ破天荒の高値を稱へ居れるが天明元年を基準として大正七年に至る約百二十年間の米價の消長に關し專門家の談話に曰く

▽玄米一石 を現貨幣に換算して天明元年は僅に四十三錢にして寛政二年には二十九錢二厘の豐作從低値を現はし其後文化元年には五十錢天保元年は不作にて六十九錢八厘を七年には大飢饉の爲一躍一圓五十一錢の最高値を現はしたるも弘化元年には八十六錢九厘安政元年には八十二錢二厘と[illegible]に復したるが安政の末より慶應に入り續いて

▽維新革命 時代に入り文明の曙光動き始めしと共に米價は全く新時代の活況を呈し慶應元年は一氣に三圓五十九錢八厘に飛躍し爾來米價大變動の端緒を啓き更に明治八年には全國水害のため五圓十錢と空前の新記錄を現はし其後十年間は三四圓臺を持續し十八年に入りて又水害のため四圓二十錢に昂騰したが其後の十年間は[illegible]の相場は

▽銀本位と なり米價は自然に騰騰し明治二十八年には約七圓高七圓三十錢更に二十年後の三十八年には八圓高十三圓二十錢七年後の大正元年には五圓六拾錢高の二十圓八十錢となり[illegible]近代の中[illegible]標準は二十圓臺を最高として十七八圓臺を持續し昨六年は約二十三圓に奔騰し本年三月頃は更に二十五圓の空前なる高値を現はしたりこて米價調節の問題起るに至りしが

▽調節令も 何等の效果を見ず終に外米の輸入となりたるも依然として米價は昂騰し內地にては目下三十五六圓臺を稱へつゝあり天明乃至文政時代が平均四十錢內外にして百二十年中最も低廉なりしは金貨本位にて特に金貨が今日に見るべからざる良質なりし爲め金位高く物價極めて低廉なりし結果にして其後金位低落して銀本位となるに至り益々米價昂騰し目下金本位なるも

▽在貨豐富 にして物價昂騰を促したる結果二十圓乃至三十七八圓臺の空前記錄を續出するに至りし者なるが今天明元年の一石四十三錢と本年二三月（七月の相場は除外とし）の相場と對照せば五十九分の極低相場にして大正の一石は天明五十八石の大差隔なり天明時代に於ける大人一箇月の收得は一人當り約十圓平均とすれば米一箇月の消費高一斗四錢三厘にして收得は二百卅二分の一に當れるが

▽大正年代 に於ける大人一箇月の收入一人三十圓平均とすれば消費高一斗二圓五十錢にして收得の十二分の一に當り大正人は六十倍に垂なんとする高き米食をなし居る計算なりと

蓋平河氾濫して一帶の湖

◇滿洲線の不通 大石橋、沙崗間は蓋平河氾濫の爲め一帶の湖となり、海城、南臺間は海城河氾濫し附近一帶浸水せるより線路水中に沒せり尚ほ遼陽附近亦太子河氾濫し線路崩壞せるより軍隊出動して改修工事に從事せるも未だ復舊の見込立たず三日午後八時大連發の列車は大石橋迄辛うじて通じ長春よりの列車も大石橋迄通じ居れり開通は多分五日午後なる可しと傳へらる（大連特電）

東京一の大建築

設計圖案募集の議院建築

議院建築の事務も段々進捗した昨今[illegible]大藏省臨時議院建築局[illegible]先づ第一に建築設計圖案の懸賞募集を公表するまでに至つた右に就いて大藏省臨時議院建築局の

▲矢橋賢吉氏は語る 募集方法は勿論外人以外なら何人も應募され得る中で條件として主要なのは間取り位で其他は自由である白いものは喜んで取る、外國趣の若い工學家達などにはもう

◇構造に取掛つて居る人も二三人は有ると聞いた、內部の諸設備としては先づ立派な正門は今の假議院の處へ設けられ、それから三角形の土地の底邊部へ約一萬八千坪の建築が横に用來る、高さまでは可成りの通路となる、

◇最階下へは 理髮店、飲食物店、文房具店などの店をも用ゐる、[illegible]政黨室は政黨の頭數が減ると政黨部屋が縮まつて行くと云ふ工合に伸縮自在の構造とし使用で[illegible]場へ上下するにはエレベーターを用ゐる夏は涼しく冬は溫かいといふやうに兎に角東京一の建築物となる譯である、貴衆兩院

◇議事堂、官舍を 初め總ての官舍は今の首相官邸の邊に建設して彼の附近一帶に議院町といふ感じを與へることになる、若し應募の內で世界列國の議院の寫眞が得たいならば當省に在る世界十五議院の大寫眞を二三日中に額面として當局各室に掲げて參考とする筈であらう（東京）

俄に忙しくなつた在郷軍人會

〇〇〇〇の家庭狀況の調査を始む

第〇〇師團の〇〇〇に依つて朝鮮在住の同係軍人に對して〇〇の召集下りた人々は三日夜より續々〇〇し居れるが、京城在郷軍人分會にては是等〇〇〇〇の家庭狀況を調査し救護を要すべき家族等あらば軍人後援會及び京城府と協力して相當の處置を執るべく目下實際に調査し居れるが同時に這回の急遽な〇〇者に對しては汽車汽船賃の割引其の他一般の便利を與ふる樣各關係諸方面に交渉しやる等俄に活氣づきて事務多忙を極め居れり

セ車を援く可き尾崎氏の飛機

既に發送さる

飛行家尾崎行輝氏が飛行機を携へセ車を援く可き事は既報の如くなるが其の使用せらる可き飛行機は既に二日午後東京汐留驛より發送されたり因に尾崎氏は六日頃滿洲に向け東京出發の豫定なり（東京特電）

東清線不通

列車十一輛脱線

三日午前東清線窰門より十露里南の地點にて列車十七輛脱線し線路破壞の爲長春、哈爾賓間不通となり目下復舊工事中なり因に車掌一名支那人二名負傷せり（長春特電）

薄情男に說諭

女房からの願ひ出で

名古屋市南區[illegible]田本町三平ひさ三女せき（二五）の夫なる三重縣鈴鹿郡龜山町生れの栗本幸太郎（三九）は大正三[illegible]の實家に三兒を殘して[illegible]中情婦と共に朝鮮に駈落し來り初めは京城義州通二丁目の賀兒栗木識藏方に同居しゐたりしが各地を步き廻りたる末昨今は平壤南山町廣瀨製車工場に雇はれ車製造に從業中の如きも昨年來郷里に送金等なきのみならず音信全くなきに目下ひさの一家には病人ある上にせきも急性の腦加答兒に犯され生命危篤なるより一家の悲慘目もあてられず直ちに歸國するやう說諭し貰ひたき旨朝鮮の官憲にひさより願ひ出でたりと

京龍兩中學の水泳開始

西氷庫の賑ひ

京城中學校及び龍山中學校にては合同の上三日より西氷庫に於て水泳を開始したるが場所は西氷庫前にして

▽指呼の間 に蠶島より鷺梁津一帶の連山を望むを得强烈な夏の色を溶して水愈々青く且つ同所附近は遠淺なれば水泳場としては最も適當なる場所なるが其上涉上には數個所に天幕を張り棧船を泛べブイを繋ぐなど水泳場としての設備も亦可なり行き屆けるものゝ如し兩校生徒中

▽在京者は 擧つて水泳に參加する事となり居り四日の如きは午後一時發の臨時列車にて西氷庫に押し寄せたるもの兩校を合して二百七十名に達したるがこの外京龍各小學校兒童二百餘名も參加したれば一時水泳場は大河童の群にて埋もれこれ等が生のやうな

▽水泳を上り落々として游泳する樣却々の壯觀なりき水泳は今の所毎日三時を以て切揚げ三時五十八分西氷庫發の列車にて歸京する事となり居れるが水泳中は各校共引率の職員が絶えず指導監督するのみならず憲兵派遣所よりも亦警備船を出して萬一に備へ居れるを以て大いに好都合なり

◇河童の群 ＝四日西氷庫水泳場にて＝

賑うた納涼列車

涼しい元山へ

納涼列車は三日午後十一時南大門驛發、零のやうな星の無數に鏤められた美しい空を車窓に眺めつつ元山に向つた、客車は三等二輛二等一輛連結されたが納涼客は南大門驛で一杯になり龍山驛では

◇互ひに膝 を讓り合はねばならなかつたので一ノ瀨驛長は『憾くり蹊まれないのはお氣の毒です蹊りの列車はもつと車を増します』と氣の毒がつて居た、龍山から乘込んだ救護班も掛ける處がないので暫くの間は立往生をして居たが、之では明日の疲憊が甚だ遣はれると乘務員の注意で腰掛を引延ばして急造の座敷を拵へたので、乘客は早速

◇足を延し て、酒宴を始めたり横になつたりした、清凉里驛を過ぐる頃はひから鮮人紳士の一斷が車輪の響きも壓する許りに、景氣のよい歌を唄ひ出したので車中は非常に賑つた。清水のやうに涼しい風が絶えず車中に入つて浴衣の袖をや、冷やかさ[illegible]であつたから乘客は二時三時の頃ほひまでビールの泡を吹きつゝ納涼氣分を味はつた、同列車にはサッポロビールの吉田さんや安藤運輸課長新田耕一氏を始め京城の實業家側の人々が多かつた（一記者）

□當籤者氏名

第二回紙上寶探

△一等（反物）＝十八人＝

忠淸南道公州旭町十九 細野貞依
京城旭町七〇 田川富美子
京城西大門一丁目 長生湯
京城旭町二ノ三〇 守永ツタ
釜山本町高瀨合社內 中島助二郎
滿洲鐵道地方事務所 宍野正
京城倭城臺俱樂部 野田ミサヲ
京城太平町二丁目 石間モリ
京城櫻井町一 谷野米子
京城本町四ノ三六 森本知義

△二等（應接室置時計）＝十五人＝

全南榮山浦 青木勤三郎
黃海道兼二浦郵便局 島田正
龍山漢江通十番地四ノ一 佐々木春子
同 十一番地 竹中玉五郎
全北全州大正町二 にしきや洋服店
平壤本町竹中吳服店 井下通義
同 大和町一七 坪内理髮館
京義線順安邑內 木原花子
京城大島町二ノ七二 横田義人
同 同二丁目山田方 中根百枝
同 鍾路一ノ四六藤富方 水田武夫
同 南大門通三今村方 上野憲太郎
同 舟橋町一五〇 野本國太郎
同 本町一の一五高光館 小宮トク子
同 同 三丁目 福原マツ子

△三等（夏シャツ）＝廿八人＝

[illegible]

△四等（浴衣地）＝三十八人＝

[illegible]

△五等（京日一ヶ月購讀券）＝五十八人＝

[illegible]

生れ付の黒髪と同じ色に染る

■一度使へば何時迄も使ひ■ ■心地のよい無比の染色劑■

▲眞正の染毛劑 茲に御婦人には勿論、男子の方々にも、喜ばしい御報道があります それは有名な御用達丸本舗丹平商會の發賣に係る染毛劑で、學理と實地の經驗を重ねた眞正の完全な染毛劑が發見された事であります。

▲東洋各地に擴まる 斯う言へば最早大概の人は、其の染毛劑といふのは、あのナイスの事だらう、と斯う見當を附て終ひます。全く其通で、それ程此しらが赤毛染ナイスは、瞬く間に有名になり、內地は素より支那、印度其他凡て髮の毛も黒く艷やかに美しいのを尊ぶ國々に擴まつたのです

▲專門學者の勝利 御承知の通り從來のしらが染といふのは[illegible]毛劑とは申されない品が多いのでどうかして立派な完全な染毛劑を作りたいと、專門の學者達が最新の學理に照して、熱心に研究された結果、非常な苦心の下に完成したのが、即ち今最も流行のよいナイスであります。マー申せば學問の勝利と言つても宜しい。

▲惡い色とは……？ 此處に二人の人を置いて、一人にはナイスで、外の人には外の染毛劑で染させて見ると能く分ります ナイスで染た髮には、決して厭な色がありません。厭な色とは、十分に黒く染まらないで紫色がかつたり、さも態とらしい變な黒さになつたり、惡くテカテカ光つたり、然うかと思ふと安い墨の汁のやうな些とも光澤がなかつたりする、其れが厭な色といふのですが ナイスは反對に非常に好い色に染まります。

▲美しい色とは……？ ナイスで染た髮の毛は、たとへどんな白髮や赤毛や漉毛でも、不思議に黒く艷やかに美しく染まるのです。其して其色も艷も態とらしくないのです。丁度生れ付髮の大層好い人の髮といつた工合なのです。常日頃其の人の髮の毛の惡いのを知つてゐた人は、おや何時の間に髮が生え變つたんだらうなぞと怪しむくらゐなのです。こんなに自然の色澤に、シンから美しく染まる染毛劑が出來たこいふ事は婦人は勿論、男子の人々にも全く意外の救助と言はねばなりますまい。消理て凡て髮を染る必要のある人々の間には大した好評で、ナイスが專ら流行してゐます。

▲有名な特色 今言つた染色と艷の外に、ナイスは正確に二十分間で染まり、色が枕や襟に附く事が無く石鹸等で洗つても染た色が剝げず、從つて一度染れば非常に永い間色が保つので度々に染る手數が無く其して染方が誠に手輕である。是をナイスの五大特色と言つて有名なものになつてゐます。

▲見られなくなる ですから各大博覽會に於て名譽金銀牌を受領したのは獨り染毛劑中でナイスの誇る處であります。ナイスの價は大瓶七十錢、小瓶四十錢、男子用三十錢で、日本內地それから東洋各地の化粧品藥店に取次いで賣つて居ます。ナイスが益々流行するにつけて行々は毛髮の白い人等は見かけられなくなるでせう。

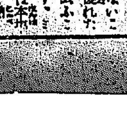
涼しい眼

人に快く見らるる涼しい眼 涼しい眼を持つ工夫種々

中村雁治郎談

初めてお目にかゝつて、その方が溫和な方だとか、鋭い方だとか氣高い方だとか云ふことの感じられますのは、先づその方の眼から一番よく受けます樣でございますですから夏の暑い盛りなぞにお會ひします方の眼が血走つて居りましたり、鬱陶しさうだつたりしますと、その人までが、何か暑苦しい方の樣に思はれますものでございます。ですから眼は何時に限らず涼しく持ちたいものでございます。特に夏は一層さうでございます。さて眼を涼しく持ちますには餘り激しい感情に動かされないこと、强過ぎる燈火を避けること、餘暗い室に生活しないこと、すべて度を過ごすことは涼しい眼も持つ爲には害になりますことでございます。それから眼の形が大[illegible]此の美しさ涼しさに關係しますものでございます。併し眼の形は生れついたものだから人間業でなほるものではないとお考へになるかも存じませんが、此はさうではございません。私共俳優なぞはお化粧一つで、聖人、君子にも見ね、惡人醜婦にもならなければなりませんものでございます。此と同樣に一般の御婦人方とても、お化粧の心得一つで、眼の形を變へて、美しく涼しく見せられますものでございます、眼尻の餘り上りましたのは、けんがあつて鋭く見ねますものでございますし、又眼尻が下り過ぎますと、何か締りのない樣に見ねますもので、直してお化粧の際に加減しますものですから、眼尻の下りました方は、白粉を一わたり塗りました後、少し濕つた手拭ひで、瞼から掛けて眼尻を上の方へ拭ひまして、その跡へ紅を薄うくほんのりと上の方へほかし上ます。眉を作ります際には、細く作りまして眉尻が心持あがる位にしますと、眼の形がちやんと整つて見ねます眼尻の上がりましたのを眞直に見せますのは此と反對に、拭つた跡へ。紅を横へ眞直にほかしますこ[illegible]整つた眼の形ちに美しく見ねます

纖細かい處ですから、熟練を要すると同時に、顔の地肌がよく整へられて居なければなりません。それには入浴洗面の都度、皮膚の榮養を助けるミツワ石鹸を使ふことを忘れてはなりません。



▲林長三郎曰く 椿油と云ひますと定まつた樣に皆めて見て苦味のあるものですが、ミツワ椿油には此の苦味のないことだけでも優れたさが分ります。ミツワ椿油は本州の椿實のよく熟したのを內地の工場へ取寄せて、皮殼を除去つて、冷壓法で搾り取つた此上もない純良な搾油ですから、髮に用ゐますならば此のミツワ椿油でございます

發賣元目錄送呈 東京橘町 丸見屋商店

醫學士 小山田[illegible]編 家庭治療法 四六判 三百頁
本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に教へ、醫師にかゝるまでの親切な相談相手となるものである。定價金五十錢 郵稅六錢
申込あれば一冊送呈す。但し其[illegible]額（郵券代用不苦）を添へ東京日本橋區[illegible]町 丸見屋商店（振替東京七一〇番）

家庭の讀もの

◇内地の温泉

◇◇何の病氣に何處が利くか◇◇

日本は温泉國と云はれる丈温泉で病氣を治すことが古くから行はれ温泉療法は外國よりはずつと進歩して居ります、即ち温泉は鑛物療法でなく温泉中に含まれた種々の成分が、呼吸器や消化機關や皮膚を刺戟して物理的に身體によい効果を與へるのです、然し温泉にも種類が多くその効果もそれぞれ異なつて居りますから温泉に行くには先づ

▽**體質なり又病氣** によつて選ぶ必要があります、更に其土地の交通の便不便、食物や日用品の供給の有様殊に飲用水と空氣の具合などを調ることが必要です、我國の温泉で最も多い温泉は鹽類泉と硫黄泉ですが、之は神經性の流産、中氣、僂麻質斯、子宮病、糖尿病、肝臓肥大病、營養不良、病後の衰弱、打身、化膿した疵、慢性氣管支カタル、肺尖加答兒等に効果があります

▽**婦人には特に温泉** の効能がありますが是は温泉の成分の外に湯の温度の加減が自然に身體を温め血行を促し子宮の故障から來る冷えを去る爲めに良いので殊に子宮加答兒にはアルカリ温泉が効果があります、アルカリ温泉は皮膚を滑らかにしぬらぬらします栃木の鹽原上州の磯部などがこの種のものです、唯此温泉に行つて注意を要するのは

▽**消化不良や病後** の胃腸等で胃腸カタルに罹り易い人々殊に肺結核や胃癌の患者はアルカリ泉の飲用を必ず禁じなければいけません、夫から皮膚病には硫黄や硫酸を含んだ温泉が効能があります、夫故草津温泉には此種の患者が集まります、次に温泉の名所をあげると道後、箱根の湯本の澤、伊豆の伊東、別府那須等は單純温泉といつて

▽**その成分に特色** なく又格別何の病氣に利くといふこともないので只水の作用と温度の加減で身體に効能があるのです、次に鹽泉として知られてゐるのは箱根の宮ノ下、底倉、別府、鹽原、湯河原、有馬、修善寺、熱海、磯部、四萬、和倉等です斯して温泉の成分と體質を調べたならば今度は入浴についての注意です、温泉は各成分が違ふと共に

▽**又其温度も一樣** ではありませんから、先づ其湯の温度によつて入浴時間を考へねばなりません、よく温泉は幾度でも入る丈効能があるもの、やうに考へる人がありますが入浴の仕方を心得ぬために却つて害をすることがあります、普通の温度なれば一度の入浴時間は十分より四十分迄又一日に二回乃至四回が適度です、そして一回の入浴の後は

▽**一時間位寢床の** 上で休む方がよいのです、又病人なれば二三日入浴したら一日か二日休み間を置いて再び入浴します、そして期間は四五週間位費すのが適度でせう、健康の人なれば二十一回乃至二十八回が程度です(東京)

◇涼しい水遊び

◎流行の夏衣

△著て涼しく▽ ◇見て涼しく◇

夏の著物は他の季節に比べて苦心を要するものです、冬ですと衣裳によつて何んな人でも美化させることが出來ますが夏は婦人の肉體美を現はす時ですから著物の

▽**選擇** が困難であります、重ね而して冬と違つて著物の數を重ねて姿をつくることは出來ません、殊に眞夏の衣裳は最も考案が困難なものです、この眞夏の衣裳について最近考へが大變違つて來ましたそれは一般に著て涼しいと云ふよりは涼しい感じといふ點を主眼とするやうになりました、それ故去年迄は眞夏にも黑とか紺系統の色でこれに茶などを使つたのが

▽**流行** でしたが今年の流行から考へて何うして茶など、いふ暑苦しい色をつかつたかと云はれる位でありますそれが今年は納戸色に流行が代りました、この色は明治四十二三年頃に流行した色で感じから云ふと夏に相應はしい色ですが、又地質は昨年迄は立絽が全盛でしたが今年は前に戻つて再び横絽の流行となりました一體

▽**保存** の上から云ふと立絽は絲の工合で弱いと申します然し絽に横を透かしたやうな工合のが最流のものです、次に模樣や柄はまだ今年は全部横絽に代らずに立一般に縞にあきて來て今年あたりから小紋式のものに趣味が變つて來ましたが小紋も昔風でなく小花模樣と云つて花網を小さく散らしたやうなものとか或は更に小紋を工夫して上の方を飛模樣にし裾を

▽**一體** の小紋にしたものなどがありますこの他今年の新しい傾向として飛白が現はれて來ました尤も紺飛白でなく縞に飛白を出したものです、又地質の種類は從

夏にはどうしても明石が多く次は紗と絽ですが昨年あたりは紗が勢力がありましたが是は輕いといふばかりで著た上に餘りよくないと云ふので今年は明石の地質や色に工夫したのが流行です(東京)

◎一筆描きの蛇の繪

◇◇鍵富の繪畫◇◇

地獄耳の骨董王として天下に覇を唱へて居た先代山中吉郎兵衛翁の一周忌も最早間のない事となつた書畫骨董の鑑識にかけては天下に並ぶ者なしといはれた人だけに古名家の筆蹟などは寸分の誤りもなく鵜呑みにして居たためでもあらうが雨の日などの徒然に自ら書齋に繪筆を展げ心のゆくにまかせてよく畫を揮つたものだといつて只

▲**無意味に描いてる** 事はない常信の筆は斯うだ山陽の筆蹟は斯うだと早い話が家の子郎黨に向つて得意ながら生きた教訓を怠らなかつた斯ういふ風でその生前には可なり多くの畫幅を描いて居た尤も其内には全く翁自身の意匠から描かれた所謂翁の作品として殘して毫も差支ないものも

▲**却々に少くはなか** つた高麗橋の増田吸江堂氏は翁の斯うした作品を二幅まで秘藏して居るがその内の一幅は乾山の筆意に似せた一本松でこれは大正三年の作他は全く翁の意匠から成つた一筆描きの蛇の圖でこれは大正六年の元日試筆その意匠の奇拔な點は僅に類を他に求める事は能きぬ

▲**何處か纏まりの** ない素人の繪は眺めて眺め得られるものではないのであるが妙な事には師匠にも就かず全く我意でやつた翁の繪がキチンと床に納まつた上に相當の氣品を備へて居るこれは古名畫で既に出來て居た結果であらう但し此蛇の圖が翁の繪としての絶筆だといふ事であるいづれ遺墨展覽でも催さるゝ際には此一幅は必ずや展觀席の評判であらう(大阪)

日報俳壇

■京城興水無月會詠草

雲の峰

雲の峰崩れて湖の微風かな　台翠
洋館の窓が光るや雲の峰　同
影を寫す湖の廣さよ雲の峰　同
白く樹てる三角標や雲の峰　同
雲の峰吹き散る海は動き居り　同
帆弛みを濃ぐ艫の青や雲の峰　素人
噴火山の黑き煙や雲の峰　同
娥眉の如き脩都や雲の峰　悟山
掛茶屋に嫌て居る人や雲の峰　同
黄な煙噴く鎔鑛爐や雲の峰　春草
會堂に鐘鳴る夕や雲の峰　同
夕空に黑きポプラや雲の峰　同

■新羅酒幕吟社詠草

夏帽

工場出る夏帽に疎き夕日かな　香仙
夏帽に湖の風吹く渡船かな　同
綠陰に夏帽の子の唱歌かな　同
丘山に遊べる兒等や夏帽子　同
線路工夫の逞しき肌や夏帽子　春草
登山隊皆夏帽を冠り居り　同

鮎

鮎打ちの裸に燃ゆる夕日かな　春草
鮎かけや薮の穂に落ちし月　同
鮎釣の倒影長き夕潮かな　同
鮎釣の飛ぶ河一杯の夕日かな　同
鮎を焼く匂ひに搖ぐ灯影かな　湖劍
鮎狩の歸路を停車場灯點せる　不可人
網の目に燥く鮎や宵の月　香仙
湖市の一館は鮎の匂ひかな　同

□京 夜 吟(其の十六)

扇

夜座に一人庭へ起ち來る扇かな　田打夫
扇執て起ちや燈下に乱れたる座　同
樹下の卓へ來て疲れる扇かな　橙黄子

蚊

雌の外の陽に鈎られる蚊かな　田打夫
山の灯を仰ぐ二階や鈎る蚊　紫先
蚊鈎つて風呂まに吹くや灯　橙黄子

書畫 紙絹用 京染呉服商 たまや出張店 京城永樂町 電一一九六

新刊紹介(到着順)

▲親鸞聖徒の理想(今井寛八、松谷元三郎共著)曰く『日本人の大多數が支配する親鸞教徒の理想』とあり和英兩文にて能く廣く海外に眞宗の教義を宣布しようとするものなり(非賣品、京日本橋區蠣殼町一ノ三松元氏方發行)

▲假名の栞(國分茶國著)一とロに假名で書くと云ふ扱で物事を假名ばかりで書く事は決して僞だ、又發達あるものに非ざれば不可能なり例令ばキとイ或はズーツ、キヤウとキヨウとケフ等の使ひ分けの出來る人は專門家ならざる限り其發合に一寸首を捻る問題であるが此の小冊子に據らば直ちに假名の使ひ方が判り百千萬語の正則なる字音を知ることが出來るといふ可賢な本である(二十錢東京日本橋銀座一ノ二大日本圖書株式會社)

▲中央文學(八月號) 文學界の權威として益々發展せる本號には天探女の話(小品)時計屋の復讐(小說)途上(翻譯小說)ハイネ(詩)、自然描寫の研究、呪はれた物語、浮世遊戯等、水其他文藝界の(十八錢京日本橋通四の五春陽堂)

▲養鶏と園藝(五の七)十九錢兵庫縣武庫郡鳴尾養鶏雜誌社

讀者の領分

▲軍司令部へ御尋ね致します私は大正二年に十九聯隊へ入隊せし者にて本年勤務演習が聯隊區より當地にて服役の許可を得たものですが勤務演習召集は何れにて何地に入隊致すのですか御返事願ひ致します(南鮮一郡の一人)

▲私は公立普通學校訓導として勤めて居りますが誠に恥しいことには書方の下手なのに閉口致して居ります殊に飲文の書方と云つたら實に不體裁なものであります此の夏休の暇を利用して大に一つ稽古して見ようと思ひますが右について現に流行する最も適當な手本はないでせうか御存の御方は御多用中御迷惑とは存じますが何卒その手本の書名、定價、販賣書店等本欄にて御知らせ下さい(求む鮮人教師海倫生)

▲小生は來る十一月滿期致す一兵卒ですが滿期後京城にて巡査に奉職の希望に付き市街に入り多少勉強し度く篤志家は本欄にて御敎へ下さい(七九の一兵卒)

▲『おもと』の植かへの時期及び手入れの方法を御存じの方は當欄にて御教示下さいまし(どうぞ生)

▲八月二日午前十一時頃豆絞り柄の紗の小切を途中で拾ひましたからたしかにお預り申て居ります御落しの方はどんなにお困りの事だらうと存じまして紙上を拜借いたしお知らせいたします(松ぞの内きみ)

▲七つ道具を背負て人に爪彈きを受けたる武藏坊とは太公望の誤りならずや、世に甄直の針を以て三年の間魚釣をなす反つて已れを知る牛若丸の末路を悼む泣辨慶の前途や末し(前人生)

京日案内

▲普通七拾錢番外壹圓前金(匿名一圓増)
▲申込中後途場合中止の節は料金不返戻
▲六回以上の御申込は特に割引あり
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

某醫院讓渡 市内屈指の場所にて内外科醫院各室の設備完全電話房浴室等結構充分なり希望の方は御來談あれ(番外)(姓名在社)

店員二名入用 年齢十七八歲より十四五歲にて高等小學卒業の者但要保證人 南米倉町 電一六三〇 京城製油所

新式 魔法瓶 △圓筒形 三合入金一圓九十錢 四合入金二圓三十錢 五合入金三圓

△水筒形 三合入金貳圓三十錢 四合入金貳圓六十錢 △送料 鮮内二十四錢 鮮外四十五錢 京城太平通 京城日報代理部 電話六〇〇 振替京城三〇〇番

金剛山寫眞帖

定價金貳圓五拾錢 送料 鮮内十二錢 鮮外三十二錢

金剛一萬二千峰の絶勝中其の精を抽き粹を選びたる鮮麗優美なる寫眞版約九十面をアートペーパーに印刷して一卷の美事なる書帖となしたるものなり故に觀る者は居乍らにして所謂金剛山裡の崇嚴なる奇勝及び古雅なる殿堂に接するを得べくる時將に漸く盛夏に入らんとするとき之を繙かば凉風腋下に湧くの概あるべく更に又た近時交通の便開けしを以て兩三日の閑を金剛山に割かんとする人の爲めには絶好無二の東道者たるべし殊に製本は布製表紙の古雅なる和裝に成り應接室等に備ふるには極めて適當なる書帖なり

發賣所 京城太平通 振替京城三〇〇 京城日報社代理部

朝鮮銀行

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城 朝鮮銀行 電話京城三三三番 振替貯金口座六〇〇番

支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、大連、哈爾濱、營口、傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海

出張所 右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之

イケダ小兒內科醫院

池田季雄 京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院一三三四番 自宅三〇〇〇番)

◎双眼鏡◎

◎十五形 六枚玉 十二圓
◎十三形 六枚玉 十一圓
送料鮮內十二錢 外三十錢 右僅少に付至急御下命願上候
京城太平通 電話構內一八番 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

京城龍山等各地に偽物有御注意
●りん病ばい毒 患者諸君
◎にせドラッグあり御注意
奸商なり
本舖大阪 ドラッグ商會 京城南大門外停車場通 ドラッグ商會 滿鮮本部 花柳病專門藥房

釜山出帆廣告

汽船 元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三愛宕丸 七月 日後四時出
門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 七月 日後四時出
佐須奈、巖原、博多行 天草丸 七月四日午後十時出
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

日本郵船仁川出帆

◎大連、天津行 相模丸 八月十八日
◎ [illegible] 丸 八月廿八日
×高砂丸 八月 日 船客御斷
仁川海岸町一丁目(電話十番) 郵船回漕部

尼崎汽船仁川出帆

下關、大阪直行 第一大湖丸 八月 日後四時出
群山、木浦、釜山、下關、大阪行 君が代丸 八月四日 日後四時出
大有丸 八月十一日後四時出
仁川海岸通一丁目(電話五九番) 高杉回漕部

共同汽船仁川出帆

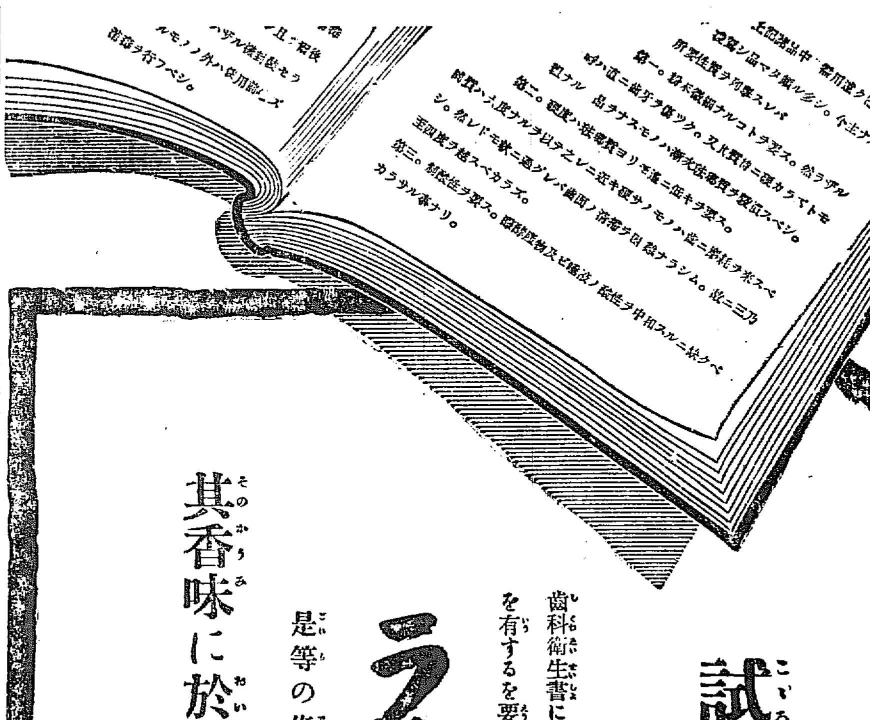
阿波共同汽船 大連直行(關東都督府命令航路) 第十一共同丸 八月五日
仁川代理店 本町四丁目 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 南大門 河村運送店

朝鮮郵船出帆

平壤丸 八月七日 元山發
平安丸 八月五日 十日 元山發
京畿丸 八月十二日 十六日
成鏡丸 八月十二日
[illegible]

大阪商船出帆

神戸、大阪行(仁川出帆) 七月 日 後五時出
群山、大阪行 安東丸 日 正午出
西湖、新浦、城津、淸津行(元山出帆) 須磨丸 八月七日 後十一時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 須磨丸 八月七日 後九時出
上海、北支那、打狗行(大連出帆) 基隆丸 八月十二日 前六時出
[illegible]



試みに齒科衞生書を繙かれよ。

齒科衞生書に所謂『理想的齒磨』とは、防腐・殺菌・收斂・清掃の諸効を有するを要すとせり。

ライオン齒磨は

是等の條件を悉く具備するのみならず、

其香味に於て亦能く萬人の好尚を得たり。

ライオン齒磨本舖 小林富次郎